

# 太田市内遺跡 11

— 平成 26 年度調査 —

2016

群馬県太田市教育委員会

## はじめに

太田市は、北に八王子丘陵・渡良瀬川があり、中央やや東側に金山がそびえたち、南は利根川まで広がる広大な面積を有する市です。市域の東部には東日本最大の前方後円墳である天神山古墳や、重要文化財に指定された形象埴輪が出土した塚廻り古墳群などの著名な古墳があります。また、市の西部を中心とした地域は中世に新田荘として栄えた地域でもありました。

本報告書は、平成26年度に実施した、市内のさまざまな開発事業に伴う確認調査の結果をまとめております。我々は、先人の残した遺産を掘り起こし、整理・保存・活用してゆくことが歴史解明の一助となり、豊かで文化のかおり高い町づくりの推進をになうものと確信しております。

最後になりましたが、調査を実施するにあたりご指導・ご協力をいただきました関係各位、また寒暖の中、発掘調査に参加していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

太田市教育委員会  
教育長 澁澤 啓史

## 例 言

- 1 本書は太田市教育委員会が国宝重要文化財等保存整備費補助金と、群馬県文化財保存事業費補助金を得て実施した「市内遺跡発掘調査」をまとめた報告書である。
- 2 確認調査は、太田市教育委員会が平成26年度に実施し、整理作業は平成27年度に実施した。
- 3 本書は、「市内遺跡発掘調査」によって確認調査を実施した遺跡の調査地について調査概要を掲載している。
- 4 発掘調査の期間および組織体制は以下の通りである。

期 間 平成26年4月14日から平成27年3月29日まで（なお、平成27年3月9日以降は、市単独費用で確認調査を行なった。）

調査主体者 太田市教育委員会 教育長 澁澤啓史

調査担当者 太田市教育委員会 教育部 文化財課 課長補佐 小宮俊久

主査 長谷川幸男 主任 山口高志 主事補 岩松大輔

調査事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 小林 豊 副部長 小須田雅信

文化財課 課長 須永光一 課長補佐 島田孝雄

係長 小島幹夫 係長代理 飯島真由美、板垣祥子、栗田雅美、松井成江

主査 峯岸建司、中村 渉 主任 岸 伸洋 嘱託員 岩崎康之

臨時職員 須田 茂、徳永良枝、長谷川理子

- 5 整理作業の期間および組織体制は以下の通りである。

期 間 平成27年4月16日から平成28年3月31日まで

事業主体者 太田市教育委員会 教育長 澁澤啓史

事業担当者 太田市教育委員会 教育部 文化財課 課長補佐 小宮俊久 主査 長谷川幸男

主査 中村 渉 主任 山口高志 主事 岩松大輔

事業事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 小林 豊 副部長（文化財課長） 管間健司

文化財課 課長補佐 島田孝雄、小島幹夫

係長代理 飯島真由美、大隅伸一、栗田雅美、岡部由紀江、野本智久、峯岸建司

嘱託職員 岩崎康之 臨時職員 須田 茂、徳永良枝、長谷川理子

- 6 本稿の執筆は長谷川幸男、山口高志、岩松大輔、中村 渉、編集は中村 渉がそれぞれ担当した。

- 7 本書に掲載した遺構の写真は各調査担当者が撮影した。

- 8 発掘調査および本書の作成にあたっては下記の方々、機関より御教示、ご協力を賜った。

記して感謝を表したい。

群馬県教育委員会文化財保護課、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

- 9 本書に関わる資料ならびに遺物は太田市教育委員会で保管している。

- 10 発掘調査ならびに整理作業に携わった作業員は下記のとおりである。

大谷公男、尾崎喜亮、小澤信久、柿沼 孝、鎌須賀伸彦、川上 進、佐瀬隆一、山藤 進、白石 孝、

高橋芳樹、対比地孝志、橋本定夫、町田恭之、丸谷了司、山本真夫、大坪春美、木村純子

## 凡 例

- 1 位置図等にベースマップとして都市計画図（太田市都市計画課 平成23年度作製）を使用した。
- 2 遺構測量図等に使用した北は座標北であり磁北でない。
- 3 確認調査全体図あるいは出土遺物実測図のスケールは各図の下端などに表示した。

## 目 次

はじめに

例 言

凡 例

目 次

第1章 調査に至る経緯 .....	1
第2章 調査の方法および経過 .....	2
第3章 遺跡の位置と歴史的環境 .....	2～5
第4章 調査の成果 .....	6～58
第5章 総 括 .....	59～60
写真図版 .....	61～77
報告書抄録	

## 第1章 調査に至る経緯

平成26年度における各種開発事業の公共事業については、前年度（平成25年度）に開発部局に対し事業照会を行ない、公共工事計画の情報入手に努めた。一方、民間開発については、事前問い合わせ窓口を開設し、その都度埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行なった。

試掘・確認調査は、文化財保存事業費国庫補助金や県費補助金を受けて「市内遺跡発掘調査」として事前調査を実施し、開発事業との調整を図ることとした。また、開発範囲が狭小で通常の確認調査の実行が不可能な場合、開発工事の途中で遺構の有無や掘削深度など確認する工事立会を実施した。

なお、試掘・確認調査の結果、遺構が確認され現状保存が困難な場合、記録保存のための本発掘調査を実施した。



第1図 太田市全体図

## 第2章 調査の方法および経過

太田市における各種開発事業に伴う埋蔵文化財取り扱いの調整については、次のような方法で実施した。まず、事業照会や事前問い合わせにより開発計画の情報を得て、その開発予定地が埋蔵文化財包蔵地内にあるかどうか太田市埋蔵文化財包蔵地図をもとに判断した。包蔵地内にある場合、事業者に「埋蔵文化財発掘の届出・通知」の提出を要請し、その開発内容により「慎重工事」・「工事立会」・「確認調査」の指導をした。

確認調査の場合は、「確認調査依頼書兼発掘承諾書」の受理後、日程の調整をして、申請人あるいは申請代理人の立会のもと調査を実施した。調査時には、対象となる土地の地形や形状または開発内容を考慮した上で調査区を設定し、遺構確認面まで掘削機などで掘り下げた。遺構の有無、遺構の内容は、人力による精査で把握した。記録は平面図・断面図等を作成するほか、35ミリカラーフィルムにて写真撮影を行なった。確認調査後は申請人あるいは申請代理人の立会のもと埋め戻しを行ない、沈下を防ぐため十分に転圧をして現場を引き渡した。

調査後の整理作業については、これらの調査によって出土した遺物の洗浄・注記・接合・実測や、図面の修正・トレース・編集などを行ない、翌年度に報告書『市内遺跡発掘調査』の刊行を行なうこととしている。

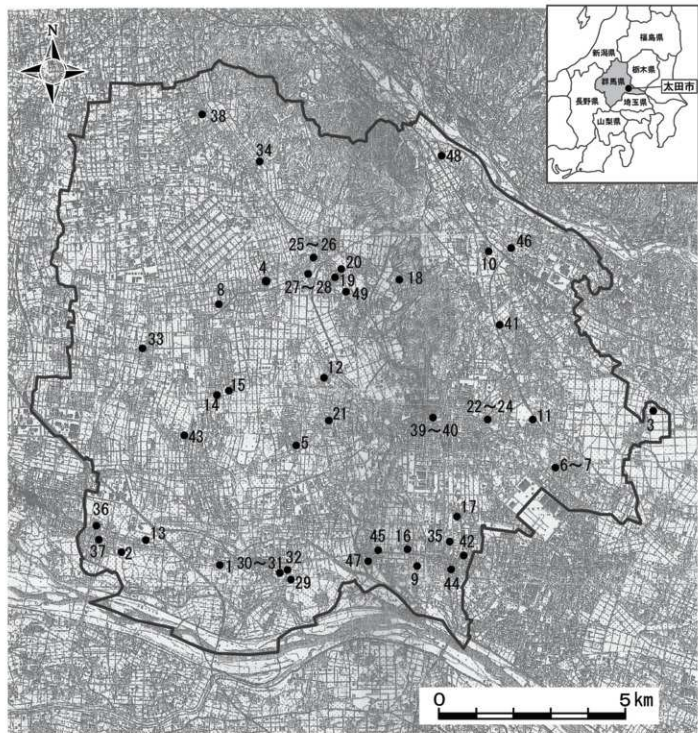
当市の平成26年度における事前問い合わせ件数は公共・民間あわせ合計1,858件であった。そのうち、遺跡地内で開発行為が計画され、埋蔵文化財発掘の届出・通知が提出されたのは合計359件であった。確認調査総数は49件で、そのうち「市内遺跡発掘調査」として国および県費補助金を得て実施した試掘・確認調査件数は合計46件であった。なお、残り3件については市単独費用で調査を実施した。「市内遺跡発掘調査」における開発目的の内訳は、公共事業では区画整理事業（道路建設）2件、圃場整備（農道・水路開発）1件、道路改良工事1件、排水路工事1件、工業団地開発1件であった。一方、民間開発では個人住宅10件、建売住宅7件、集合住宅3件、店舗4件、診療所3件、倉庫2件、福祉施設1件、宅地造成3件、独身寮1件、葬儀場1件、太陽光発電施設5件、住宅展示場2件、駐車場1件であった。

## 第3章 遺跡の位置と歴史的環境

太田市は、北部に八王子丘陵、市域中央に金山丘陵が広がっている。八王子丘陵西側の藪塚地域には大間々扇状地が広がり、扇状地の端部に位置する新田地域からは湧水が流れ出し、古代より生活の水脈として利用されている。中央部には広大な平野が広がり、水田地帯を形成している。利根川に面する南西部の尾島地域は、旧利根川の流路にあたる部分であり、榛名二ツ岳の噴火による噴出物の洪水堆積層によって遺跡が覆われている。

平成17年度に合併する以前の旧1市3町の範囲は、太田地域・藪塚地域・新田地域・尾島地域の4区域に分けられる。平成26年4月1日現在で太田市全体としては、965遺跡が確認されており、これらを主な時代ごとで多い順に列挙すると、古墳時代が最も多く、ついで奈良・平安時代、中世、縄文時代、近世、弥生時代、旧石器時代となっている。

平成26年度「市内遺跡発掘調査」として実施した調査地の概要について、次ページの地図及び一覧表にまとめた。



- 1・2FP泥流下遺跡群 3沖之郷後原遺跡 4笠松遺跡 5五反田遺跡 6・7御堂遺跡 8境ヶ谷戸遺跡  
 9野沢村78号北古墳、高林鶴巻古墳群 10猿楽遺跡 11下小林上遺跡 12下原遺跡 13下原古墳群 14・15反町館跡  
 16高林遺跡 17田谷遺跡 18嶋生田口遺跡 19寺裏遺跡 20寺裏遺跡、推定東山道駅路下新田ル一ト  
 21天狗林遺跡 22・23・24天神山古墳 25・26天良七堂遺跡 27・28天良七堂遺跡、推定東山道駅路下新田ル一ト  
 29・30・31・32東部地区遺跡群 33西側遺跡 34西野東中遺跡 35西矢島古墳群 36・37新田館跡 38萩林遺跡  
 39・40浜町古墳群 41原店遺跡 42道知塚遺跡 43宮田稲荷古墳、一町田・堀之内遺跡 44向野遺跡  
 45屋敷東遺跡 46矢部遺跡 47牛沢城跡 48休泊堀 49中道遺跡

第2図 平成26年度調査地位置図

表1 平成26年度市内遺跡発掘調査 調査地一覧表(補助金対象)

No.	受付No.	ID	所在地	道 路 名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考
1	46	12284	安養寺町29-1, 30-1	FP 配流下道跡群	高齢者住宅	2196.00	70.00	4月25日	遺構 遺物 溝2 なし	本調査なし
2	60	12306	賀良田町地先	FP 配流下道跡群	排水路工事	1100.00	180.00	7月29日 ～7月30日	遺構 遺物 溝1 なし	本調査なし
3	122	12425	神之郷町264	神之郷原道跡	店舗	2801.32	40.00	6月12日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
4	555	13263	新田小金井町1427-1	笠松道跡	集合住宅	883.32	45.00	12月10日	遺構 遺物 住居2, 土坑4, ビット3	本調査なし
5	44	12278	宝町866, 867, 868	五反田道跡	店舗	5684.41	20.00	4月15日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
6	142	12458	龍神町1799-2ほか4筆	御堂道跡	診療所 (小児科)	1233.00	80.00	9月24日 ～9月26日	遺構 遺物 住居1, 溝4, 土坑4, ビット1 古墳時代の土器片等	本調査なし
7	330	12820	龍神町1798-2ほか2筆	御堂道跡	診療所 (整形外科)	2426.00	120.00	9月24日 ～9月26日	遺構 遺物 方形周溝溝1, 住居5, 土坑5, ビット3 古墳時代の土器片等	本調査なし
8	436	13020	新田村田町1285-1, -2	境ヶ谷戸道跡	太陽光発電	1343.00	80.00	10月1日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
9	3	12209	高林南町610-1ほか2筆	沢野村78号北古墳 高林藪谷古墳群	太陽光発電	6950.00	180.00	4月14日 ～4月15日	遺構 遺物 古墳4 古墳時代の土器片等	本調査なし
10	414	12968	只上町889-1ほか3筆	榮榮道跡	建売住宅	1350.88	12.00	10月16日	遺構 遺物 溝1 なし	本調査なし
11	131	12446	下小林町365-2ほか19筆	下小林上道跡	住宅展示場	9929.00	200.00	6月23日	遺構 遺物 溝2, 土坑2 縄文時代の土器片	本調査なし
12	368	12880	新道町114-17の一部	下原道跡	飲食店	656.36	28.00	1月29日	遺構 遺物 ビット2 墓ほか なし	本調査なし
13	61	12310	賀良田町地先	下原古墳群	開場整備	10000.00	1600.00	10月15日 ～11月4日	遺構 遺物 水田跡1箇所, 古墳7, 溝21, 坑6 古墳時代の土器片・埴輪片	平成27年度本 調査実施
14	381	12908	新田反町588-4	反町城跡群	個人住宅	68.31	18.00	8月8日	遺構 遺物 ビット3 なし	本調査なし
15	643	13401	新田反町526-1の一部	反町城跡群	個人住宅	446.00	28.00	1月27日	遺構 遺物 堀1, 溝1, ビット10, 土坑1 なし	本調査なし
16	728	13566	高林北町955, 961-3	高林道跡	太陽光発電	1936.00	151.00	3月5日 ～3月6日	遺構 遺物 溝5, 住居8, 土坑3, ビット5 古墳時代から近世の土器片	本調査なし
17	112	12400	東矢島町1171-1	田谷道跡	建売住宅	1372.00	116.00	5月20日	遺構 遺物 溝4, 住居14, 土坑4, ビット12 古墳時代の土器片	本調査を実施
18	470	13107	池戸町67ほか265筆 藤生田町1978ほか47筆	鶴生田口道跡	太陽光発電	2290.00	1370.00	10月20日 ～11月5日	遺構 遺物 溝1 石井	本調査なし
19	117	12410	島山上町1397	寺裏道跡	宅地造成	946.00	60.00	6月9日	遺構 遺物 住居2, 土坑1 古墳時代から奈良時代の土器片	本調査を実施
20	26	12246	島山上町1422-2ほか2筆	寺裏道跡 播定東山道跡路下 新田ルート	建売住宅	3265.61	100.00	5月13日	遺構 遺物 溝1, 住居6, 土坑2, ビット1 古墳時代の土器片	本調査を実施
21	377	12896	由良町922-1ほか4筆	天狗林道跡	建売住宅	2602.11	50.00	8月20日	遺構 遺物 土坑1, ビット10 なし	本調査なし
22	124	12428	内ヶ島町1612-1	天神山古墳	個人住宅	357.00	31.00	8月5日	遺構 遺物 溝1 なし	本調査なし
23	280	12722	内ヶ島町1615-1	天神山古墳	個人住宅	257.91	17.00	9月4日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
24	180	12531	内ヶ島町1623-10	天神山古墳	個人住宅	338.78	20.00	6月10日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
25	88	12355	天良町148-3, -6	天良七堂道跡	個人住宅	188.27	12.00	5月15日	遺構 遺物 溝1, 土坑2 なし	本調査なし
26	238	12638	天良町126-4	天良七堂道跡	個人住宅	176.96	3.60	6月18日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
27	395	12926	寺井町649-1	天良七堂道跡 播定東山道跡路下 新田ルート	個人住宅	238.02	20.00	8月19日	遺構 遺物 土坑2 古墳時代から奈良時代の土器片	本調査なし
28	164	12501	寺井町650-1の一部	天良七堂道跡 播定東山道跡路下 新田ルート	建売住宅	181.51	20.00	6月4日	遺構 遺物 溝2, 土坑1 なし	本調査なし



% 受付%	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考
29	10	12224	岩松町222 60街区9	東部地区道路群 賃貸住宅	626.00	50.00	4月11日	遺構 遺物 住居2、土坑1 奈良時代から平安時代の土器片	本調査なし
30	485	13134	岩松町128-1ほか G4街区-1ほか	東部地区道路群 建売住宅	903.00	32.00	10月23日	遺構 遺物 なし	本調査なし
31	639	13394	岩松町128-4ほか G4街区-14ほか	東部地区道路群 宅地造成	1452.00	40.00	11月20日	遺構 遺物 なし 平安時代の土器片	本調査なし
32	145	12462	岩松町282ほか G8街区7ほか	東部地区道路群 集合住宅	1103.59	40.00	7月1日	遺構 遺物 溝1 なし	本調査なし
33	175	12520	新田金井町516	西側道路 太陽光発電	2066.00	100.00	6月19日	遺構 遺物 土坑1 縄文時代の土器片	本調査なし
34	739	13388	飯塚町2769-5	西野東中道路 駐車場	1150.00	69.00	2月24日	遺構 遺物 溝2、土坑1、ピット4 縄文時代の土器片	本調査なし
35	77	12334	南矢島町885-22ほか G8街区2ほか	西矢島古墳群 店舗	2381.95	34.00	5月21日	遺構 遺物 土坑1 なし	本調査なし
36	67	12319	世良田町863-4	新田道路 店舗	169.08	15.00	8月26日	遺構 遺物 土坑13、ピット3 中世の土器片	本調査なし
37	449	13047	世良田町942-3	新田道路 個人住宅	425.97	18.00	10月3日	遺構 遺物 なし	本調査なし
38	446	13038	飯塚町1179-2ほか7筆	森林道路 貸露天展示場	1455.00	130.00	10月30日	遺構 遺物 溝2、住居2、土坑2、ピット4 なし	本調査なし
39	78	12335	浜町14-10ほか7筆	浜町古墳群 区画整理	287.00	39.00	6月10日	遺構 遺物 溝2、住居5、土坑2 古墳時代から平安時代の土器片	本調査を実施
40	79	12336	浜町14-9ほか6筆	浜町古墳群 区画整理	180.00	26.00	9月16日	遺構 遺物 溝1 なし	本調査なし
41	266	12685	東金井町878-1ほか7筆	原店道路 倉庫	11036.19	25.00	7月7日	遺構 遺物 なし	本調査なし
42	529	13223	南矢島町332-5ほか G4街区2ほか	通知塚道路 倉庫	2991.77	25.00	2月19日	遺構 遺物 溝2、土坑2、ピット4他 平安時代の土器片	本調査なし
43	861	13809	新田赤地町382-3	宮田稲荷古墳 一町田・堀之内遺跡	785.37	25.00	2月27日	遺構 遺物 古墳の周溝1、溝1 横輪片、中世の土器片	本調査を実施
44	288	12732	高林東町1677-1ほか6筆	向野道路 葬儀場	1842.04	110.00	12月17日	遺構 遺物 住居2、溝3、土坑4、ピット1 古墳時代の土器片・横輪片	本調査を実施
45	688	13490	富沢町170-1	屋敷東道路 建売住宅	656.18	44.00	12月8日	遺構 遺物 溝1、住居6 古墳時代から平安時代の土器片	本調査を実施
46	653	13425	只上町364-1	矢部道路 診療所	1798.00	101.00	2月3日 ～2月4日	遺構 遺物 溝2、土坑1、ピット6 なし	本調査なし

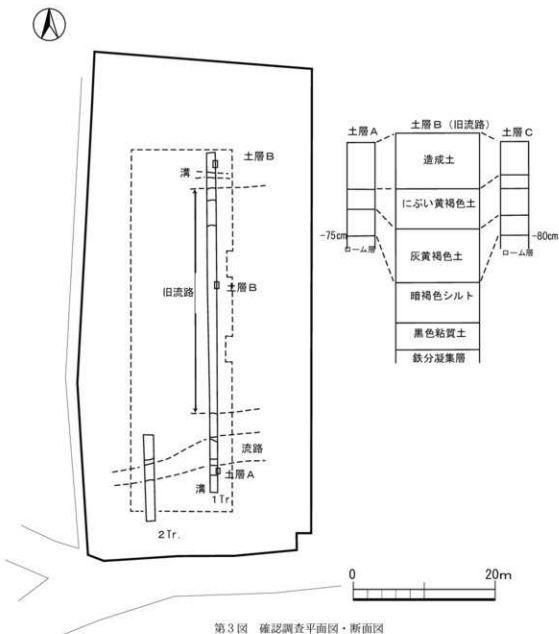
表2 平成26年度市内遺跡発掘調査 調査地一覧表（補助金対象外）

% 受付%	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考
47	909	13901	牛沢町82-1	牛沢城跡 宅地造成	896.87	55.00	3月25日	遺構 遺物 溝2 縄文時代の土器片及び近世以降の 土器片	本調査なし
48	916	13921	原宿町3843ほか19筆	林浴屋 工業団地	11763.00	40.00	3月17日 ～3月18日	遺構 遺物 沐浴場1箇所 なし	地主と協議中
49	676	13483	島山上町1164	中道道路 個人住宅	267.80	14.00	3月9日	遺構 遺物 ピット1基 奈良時代から平安時代の土器片	本調査なし

※上記3件は、市単独費用で調査を実施した。

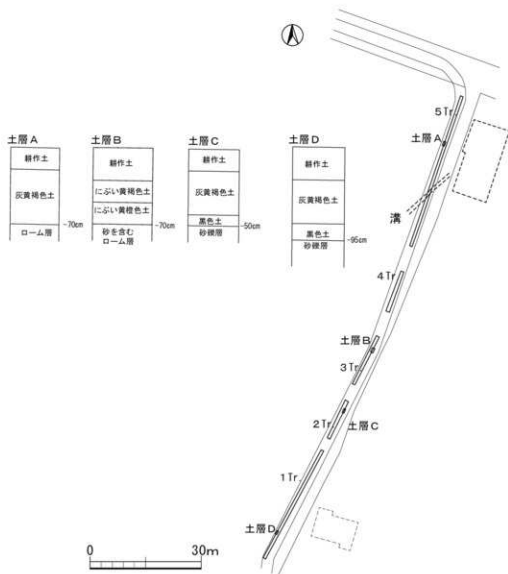
## 第4章 調査の成果

- 1 FP 泥流下遺跡群 (H26No.46)
- ① 所在地 太田市安美寺町29-1、30-1
- ② 調査原因 高齢者住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地に南北方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。流路部分においては部分的に深掘りをして土層の確認を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構は近世以降のものと推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



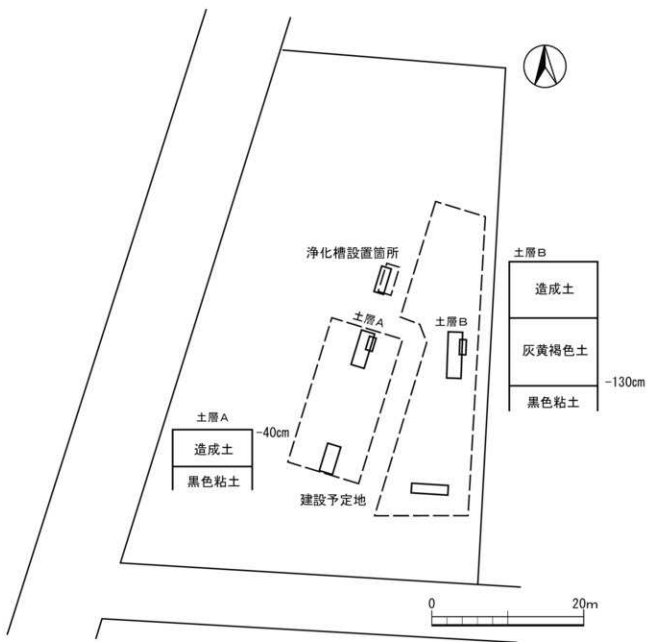
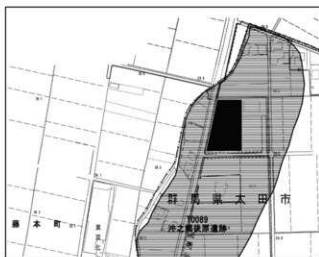
## 2 FP 泥流下遺跡群 (H26No.60)

- ① 所在地 太田市世良田町地先
- ② 調査原因 排水路の改修工事
- ③ 調査方法 工事予定地に南北方向にトレンチを5本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。ローム層が確認されなかった範囲は、部分的に礫層まで掘り下げて土層の確認を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構は近世以降のものとは推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



### 3 沖之郷後原遺跡 (H26No.122)

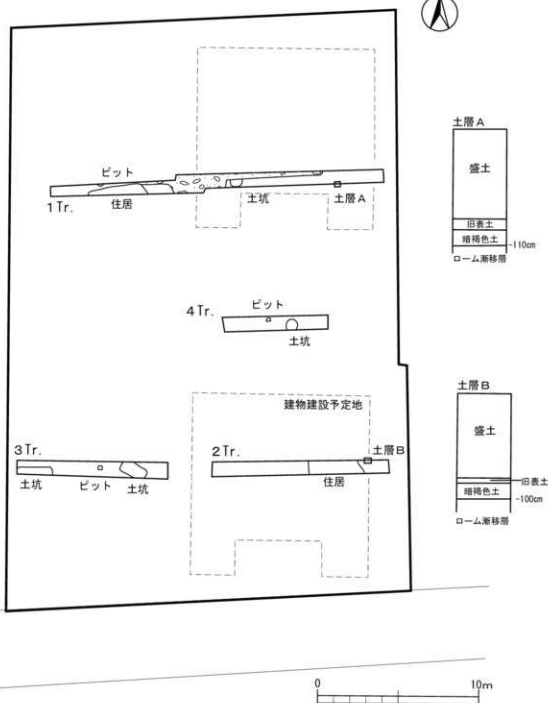
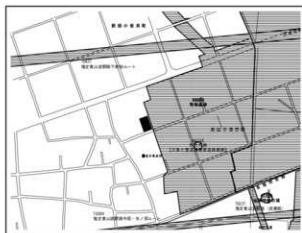
- ① 所在地 太田市沖之郷町264
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 地盤が軟弱であったため5箇所の壺掘りをして、遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。地表から90～130cmの掘り下げを行なったがローム層は確認されなかった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第5図 確認調査平面図・断面図

#### 4 笠松遺跡 (H26No555)

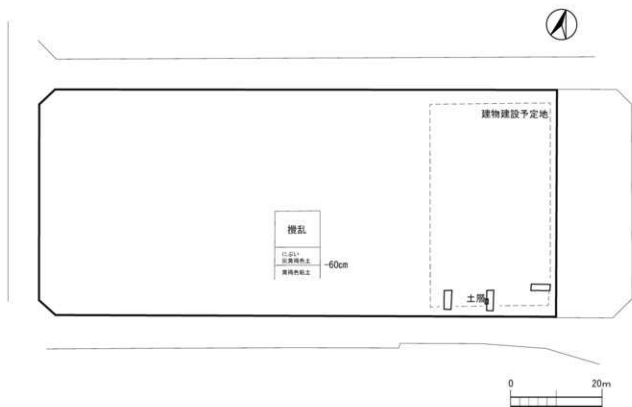
- ① 所在地 太田市新田小金井町1427-1
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に東西方向のトレンチを4本設定し、ローム漸移層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居2軒、土坑4基、ピット3基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第6図 確認調査平面図・断面図

## 5 五反田遺跡 (H26No.44)

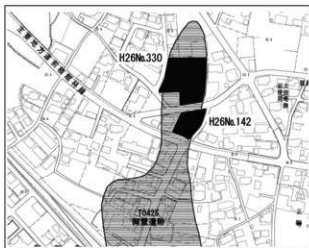
- ① 所在地 太田市宝町866、867、868
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 建設予定地のうち遺跡地内にトレンチを3本設定し、黄褐色粘土層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第7図 確認調査平面図・断面図

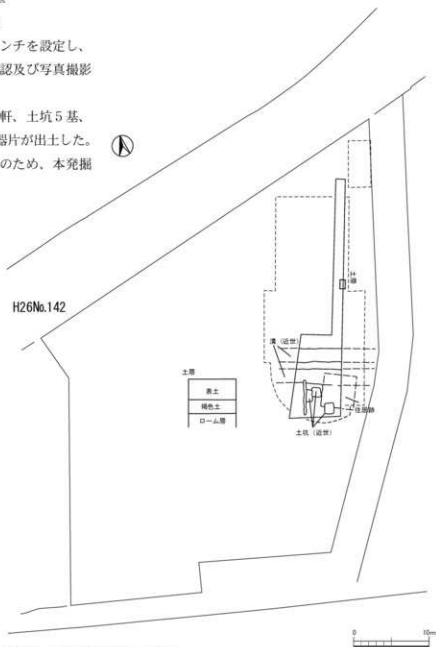
## 6 御霊遺跡 (H26No.142)

- ① 所在地 太田市龍舞町1799-2 ほか4 筆
- ② 調査原因 診療所（小児科）の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に南北方向のトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝4条、住居跡1軒、土坑4基、ピット1基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。

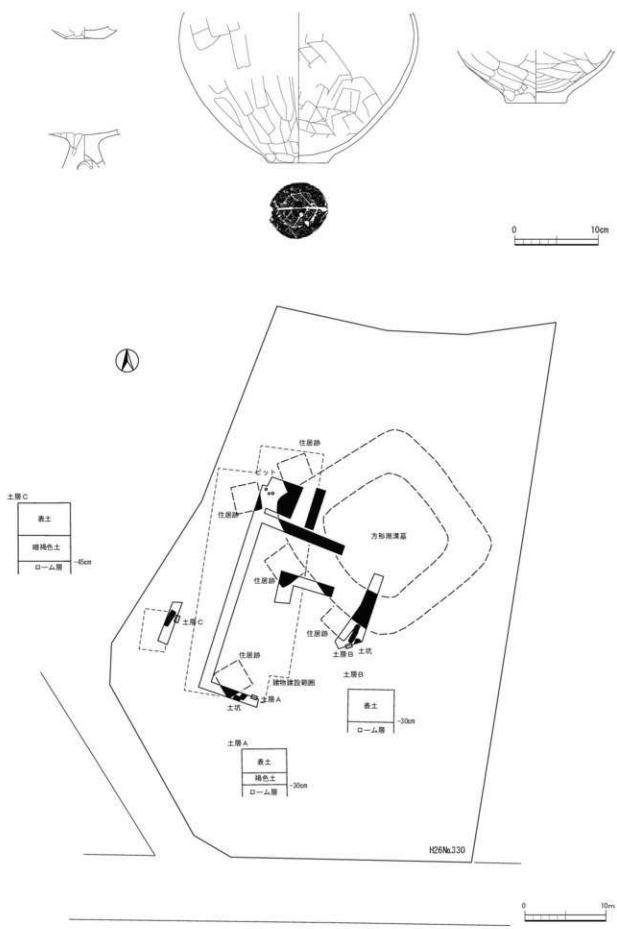


## 7 御霊遺跡 (H26No.330)

- ① 所在地 太田市龍舞町1798-2 ほか2 筆
- ② 調査原因 診療所（整形外科）の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に5本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 方形周溝墓1基、住居跡5軒、土坑5基、ピット3基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第8図 確認調査平面図・断面図

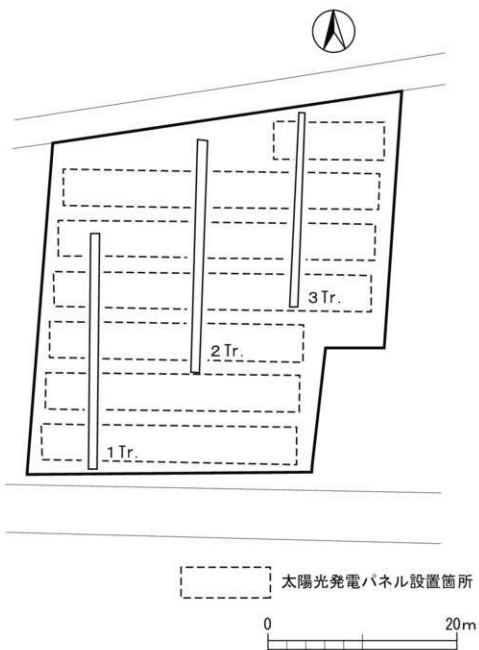


第9図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図



## 8 境ヶ谷戸遺跡 (H26No436)

- ① 所在地 太田市新田村田町1285-1、-2
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に南北方向のトレンチを3本設定し、地表から80～130cm掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



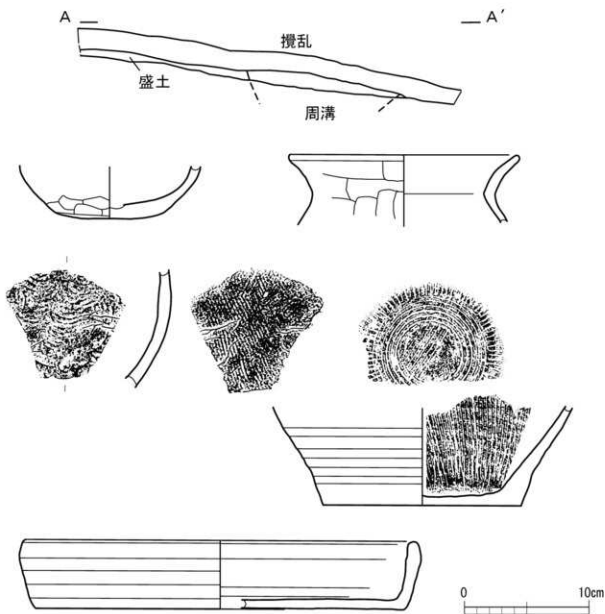
第10図 確認調査平面図・断面図

9 沢野村78号北古墳、高林鶴巻古墳群（H26No.3）

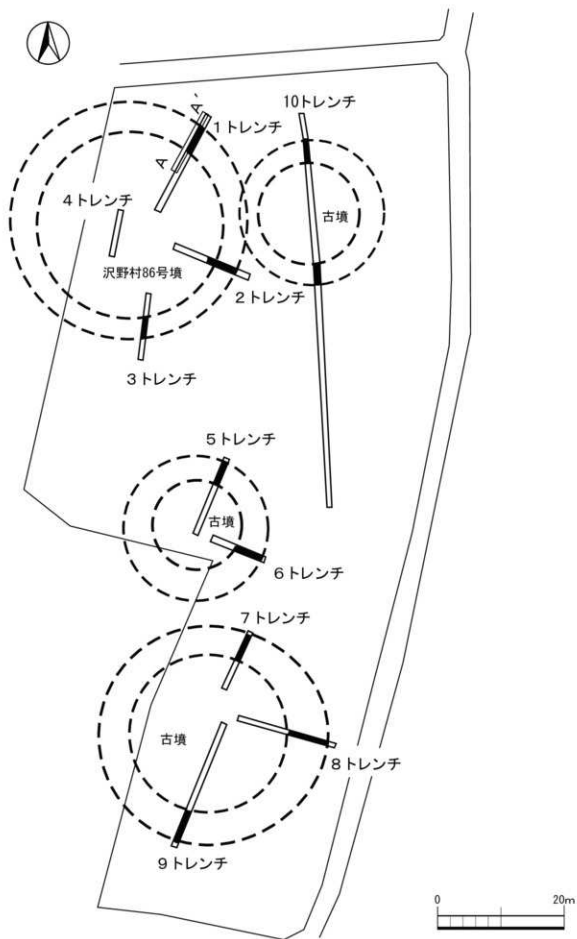
- ① 所在地 太田市高林南町610-1ほか2筆
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に10本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。残存する古墳については、古墳の盛土まで掘り下げをして土層の確認を行なった。
- ④ 調査結果 古墳4箇所が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工事をするように協議をしたため、本発掘調査の必要はないと判断される。



1 トレンチ



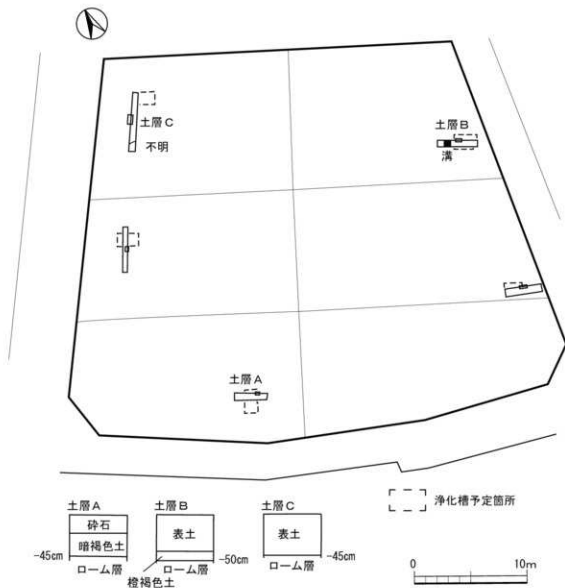
第11図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図



第12図 確認調査平面図・断面図

10 猿楽遺跡 (H26No414)

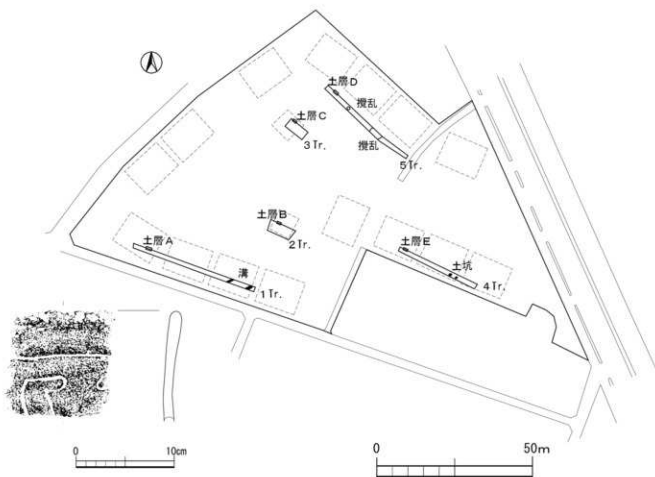
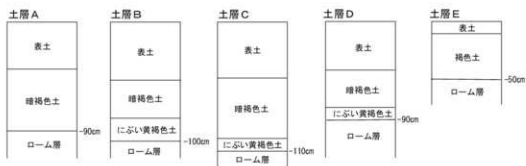
- ① 所在地 太田市只上町889-1 ほか3筆
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に5本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第13図 確認調査平面図・断面図

### 11 下小林上遺跡 (H26No.131)

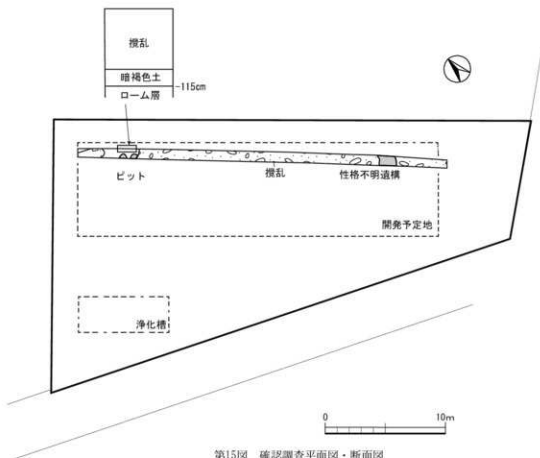
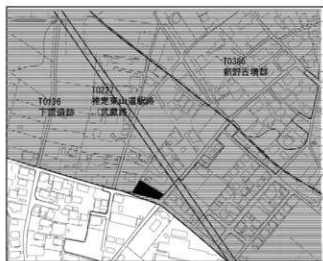
- ① 所在地 太田市下小林町365-2ほか19筆
- ② 調査原因 住宅展示場の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に東西方向のトレンチを5本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑2基が確認され、縄文時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第14図 確認調査平面図・断面図

## 12 下原遺跡 (H26No.368)

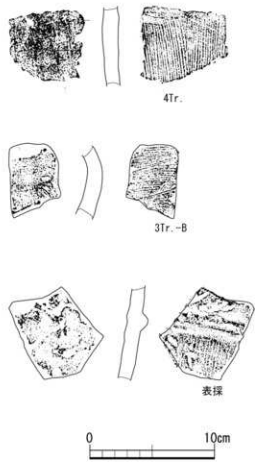
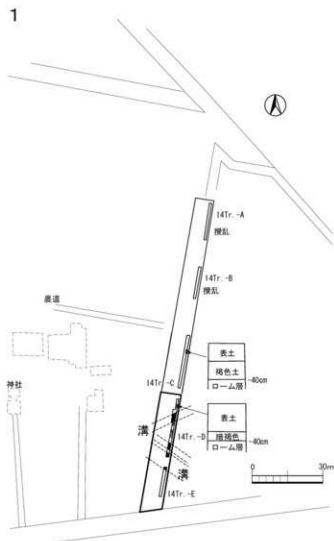
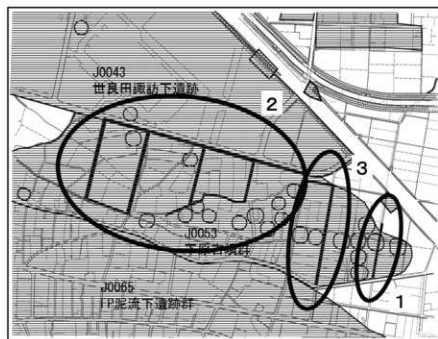
- ① 所在地 太田市新道町114-17の一部
- ② 調査原因 独身寮の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に東西方向のトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 ビット2基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 調査地のほとんどが攪乱を受けていたため、本発掘調査の必要はないと判断される。



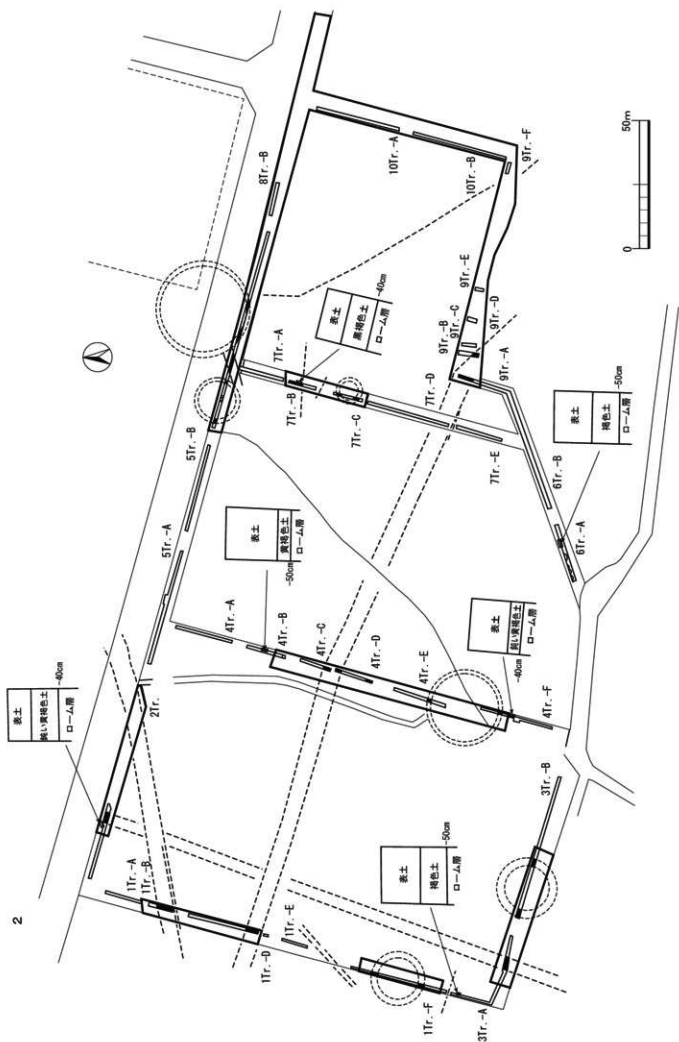
第15図 確認調査平面図・断面図

13 下原古墳群 (H26No61)

- ① 所在地 太田市世良田町地内
- ② 調査原因 圃場整備事業に伴う農道・排水路の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に45本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 水田跡1箇所、古墳7基、溝21条、土坑16基が確認され、古墳時代の土器片・埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響を及ぼす工事が計画されているため、平成27年度に本発掘調査を実施した。

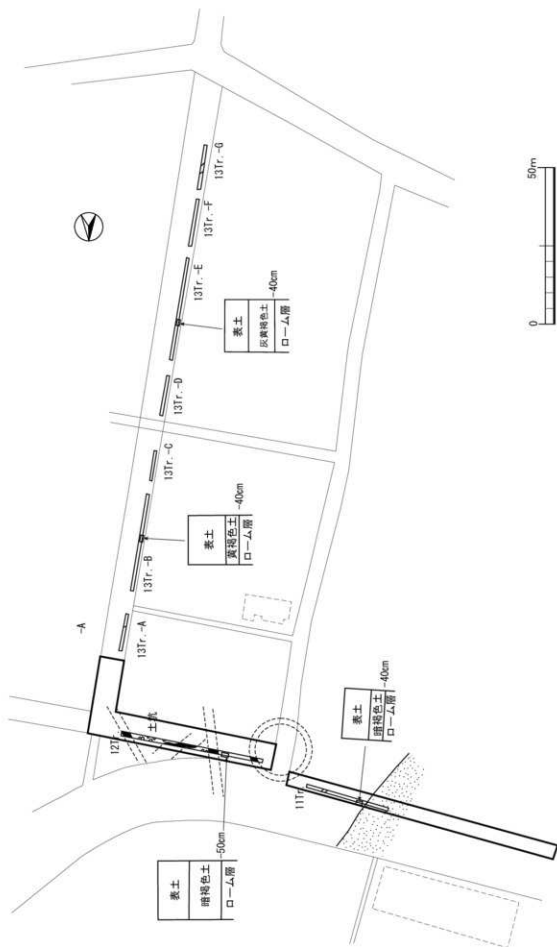


第16図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図



第17図 確認調査平面図・断面図

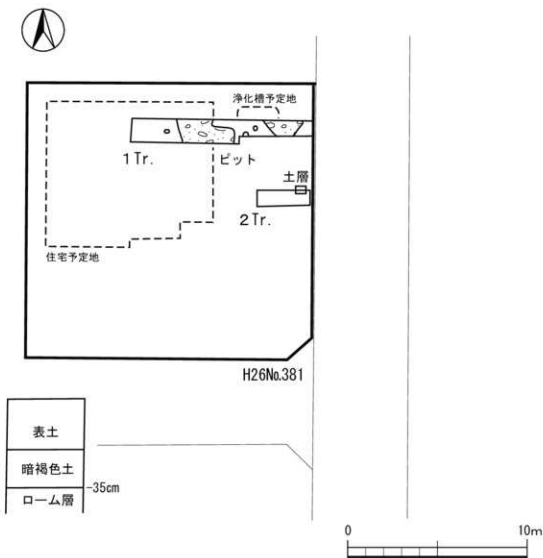
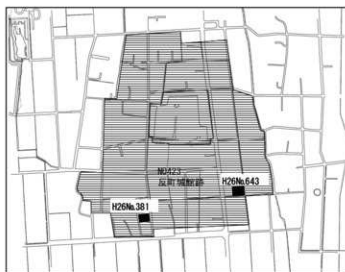




第18図 確認調査平面図・断面図

14 反町城館跡 (H26No.381)

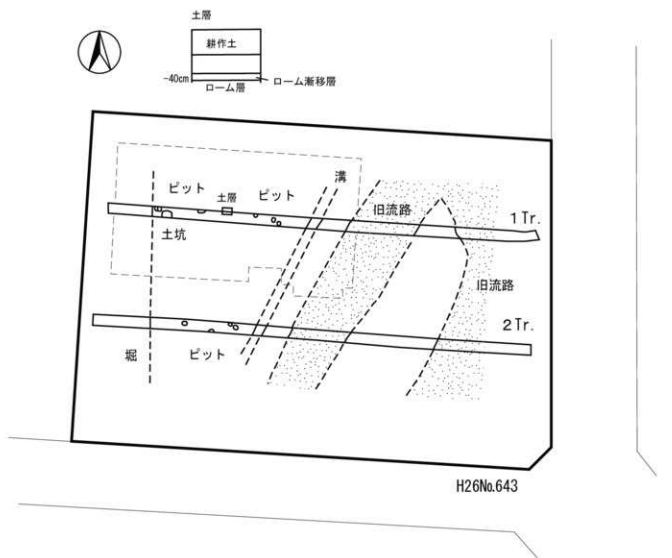
- ① 所在地 太田市新田反町町598-4
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に東西方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 ビット3基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第19図 確認調査平面図・断面図

15 反町城館跡 (H26No.643)

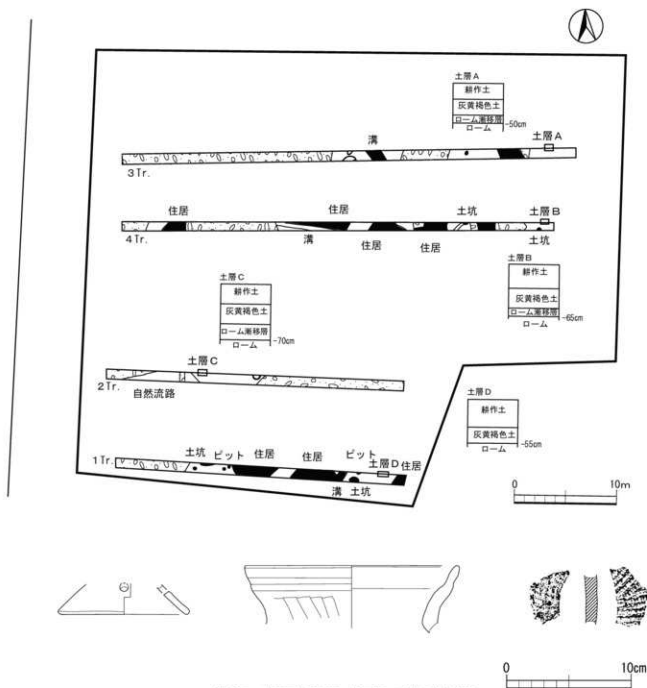
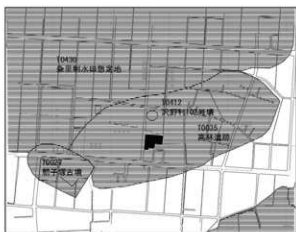
- ① 所在地 太田市新田反町町526-1の一部
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に東西方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 堀1条、溝1条、土坑1基、ピット10基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第20図 確認調査平面図・断面図

## 16 高林遺跡 (H26No.728)

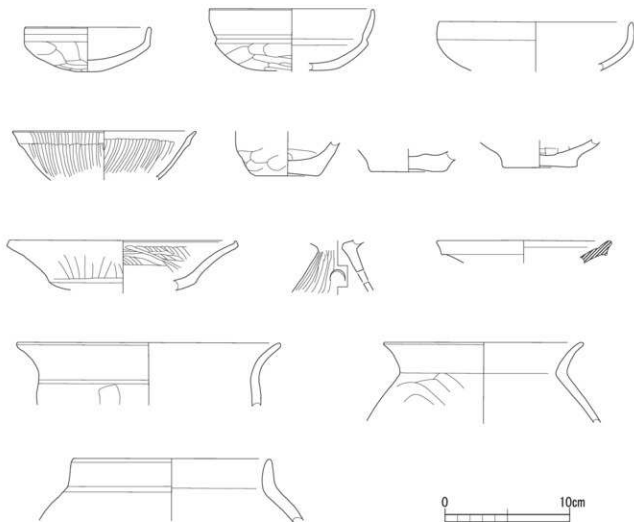
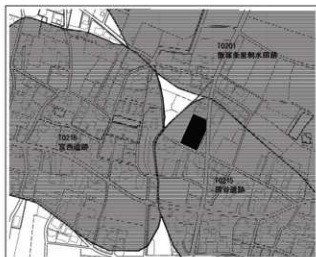
- ① 所在地 太田市高林北町959、961-3
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に東西方向のトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝5条、住居跡8棟、土坑3、ピット5基が確認され、古墳時代から近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第21図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

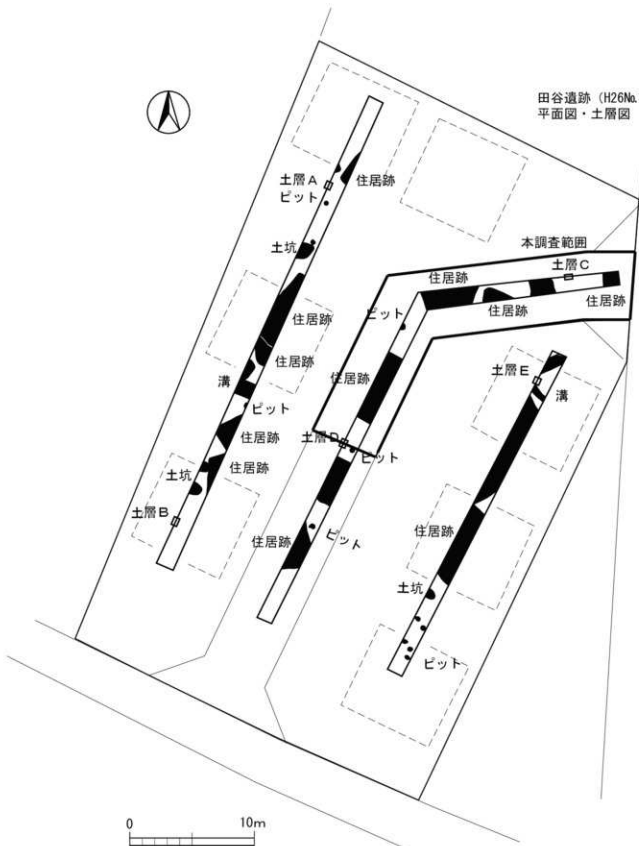
17 田谷遺跡 (H26No112)

- ① 所在地 太田市東矢島町1171-1
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に南北方向のトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝4条、住居14軒、土坑4基、ビット12基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。



第22図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

田谷遺跡 (H26No.112)  
 平面図・土層図



土層A

表土
暗褐色土
ブロック型暗褐色土
ローム層

土層B

表土
暗褐色土
ブロック型暗褐色土
ローム層

土層C

表土
にふい黄褐色土
ブロック型暗褐色土
ローム層

土層D

表土
暗褐色土
ブロック型暗褐色土
ローム層

土層E

表土
暗褐色土
ブロック型暗褐色土
ローム層

-70cm

-75cm

-45cm

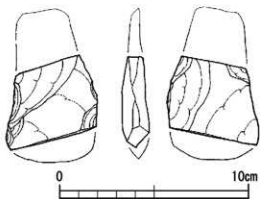
-70cm

-60cm

第23図 確認調査平面図・断面図

18 鶴生田口遺跡 (H26No.470)

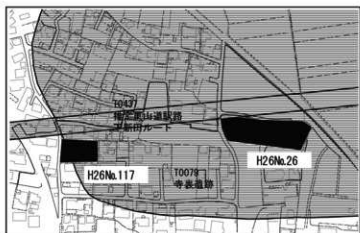
- ① 所在地 太田市強戸町67ほか、鶴生田町1970ほか
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に19本のトレンチを設定し、礫層または礫層付近（地表から40～130cm）まで掘下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条が確認され、打製石斧1点が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第24図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

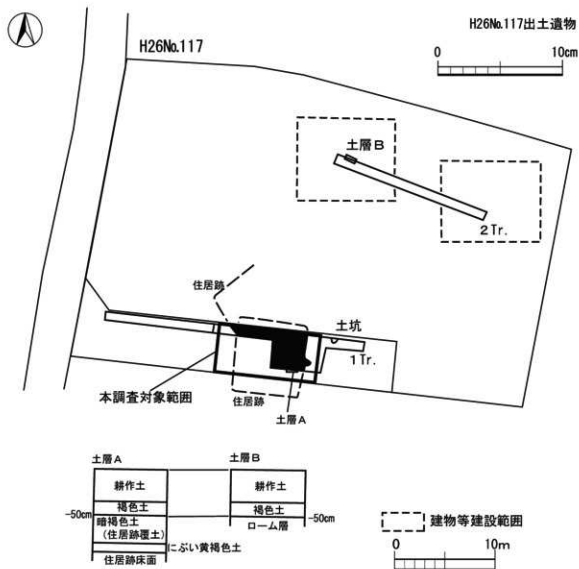
19 寺裏遺跡 (H26No.117)

- ① 所在地 太田市島山上町1397
- ② 調査原因 道路開発を伴う宅地造成
- ③ 調査方法 建設予定地に東西方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、土坑1基が確認され、古墳時代から奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。



20 寺裏遺跡、推定東山道駅路下新田ルート (H26No.26)

- ① 所在地 太田市島山上町1422-2 ほか2筆
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に東西方向のトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条、住居跡6軒、土坑2基、ピット1基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。

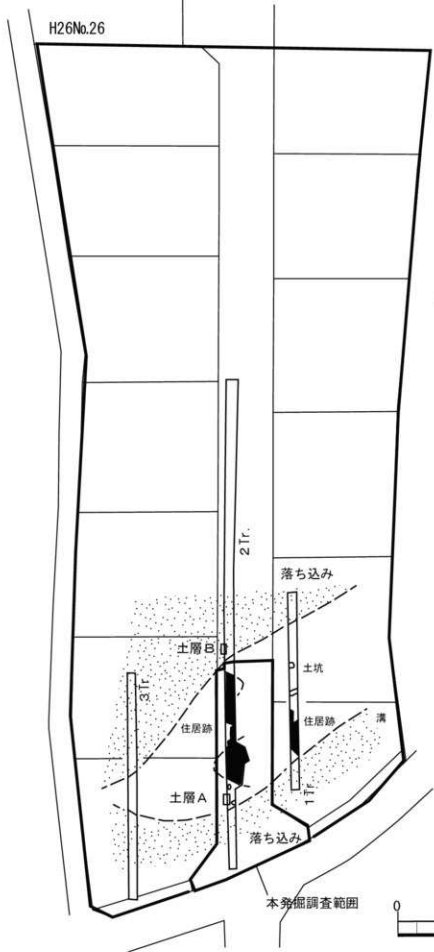
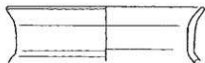
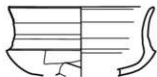


第25図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図





H26No.26



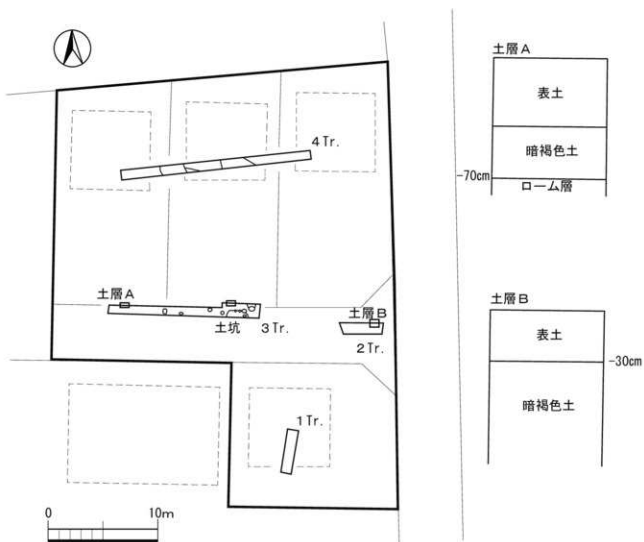
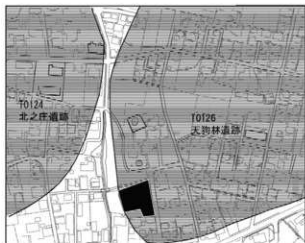
本発掘調査範囲



第26図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

21 天狗林遺跡 (H26No.377)

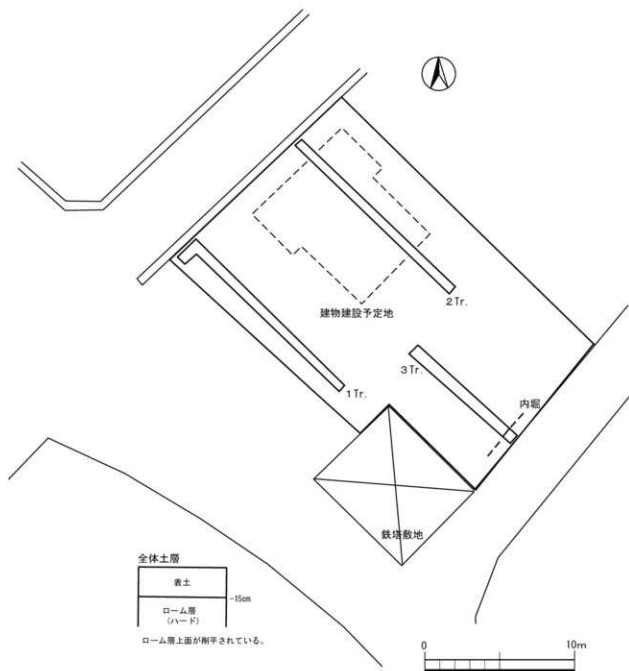
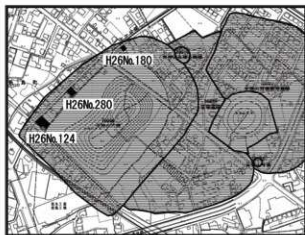
- ① 所在地 太田市由良町922-1 ほか4筆
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地にトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑1基、ピット10基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 土坑は近世以降のものだと推測されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第27図 確認調査平面図・断面図

22 天神山古墳 (H26No.124)

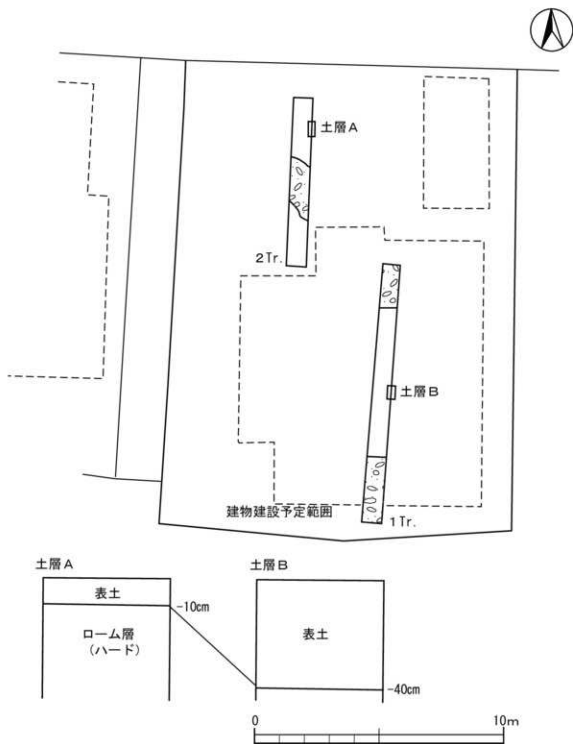
- ① 所在地 太田市内ヶ島町1612-1
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条が確認されたが、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第28図 確認調査平面図・断面図

23 天神山古墳 (H26No.280)

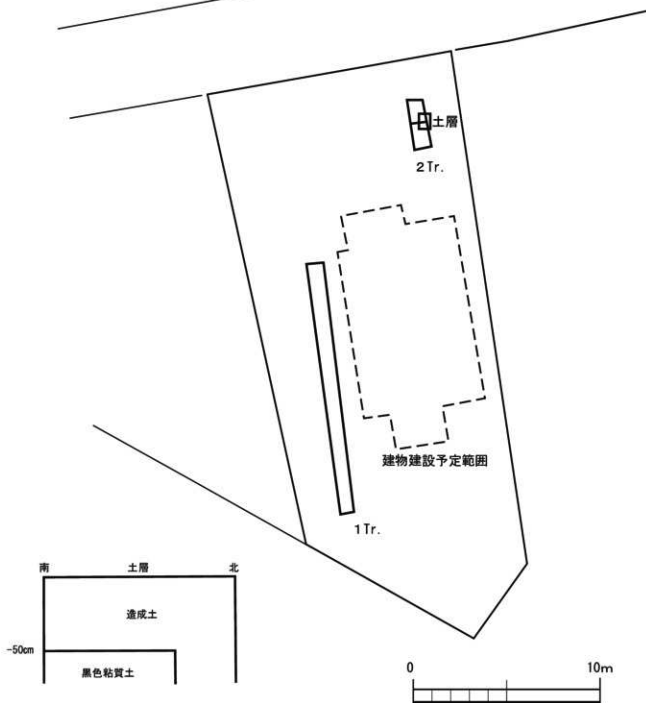
- ① 所在地 太田市内ヶ島町1615-1
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に南北方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第29図 確認調査平面図・断面図

24 天神山古墳 (H26No.180)

- ① 所在地 太田市内ヶ島町1623-10
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地付近に南北方向のトレンチを2本設定し、地表から約70cm掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第30図 確認調査平面図・断面図

25 天良七堂遺跡 (H26No.88)

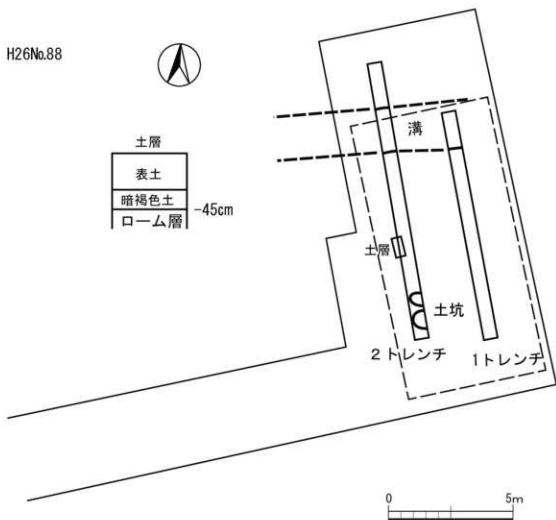
- ① 所在地 太田市天良町148-3、-6
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に南北方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条、土坑2基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



H26No.88



土層	
表土	
暗褐色土	-45cm
ローム層	

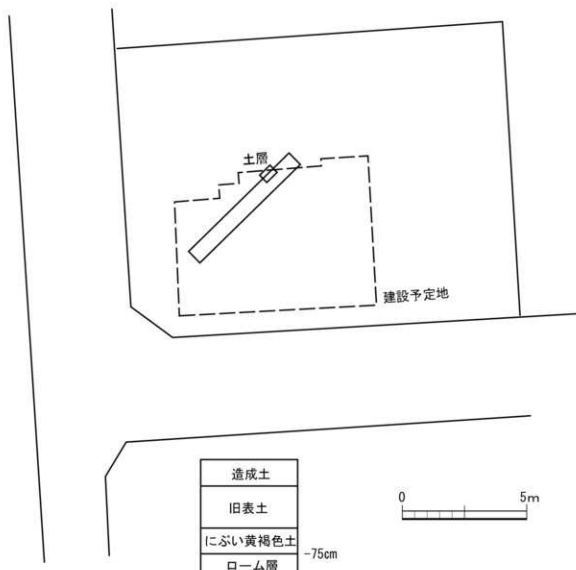


第31図 確認調査平面図・断面図

26 天良七堂遺跡 (H26No.238)

- ① 所在地 太田市天良町238
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に1本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。

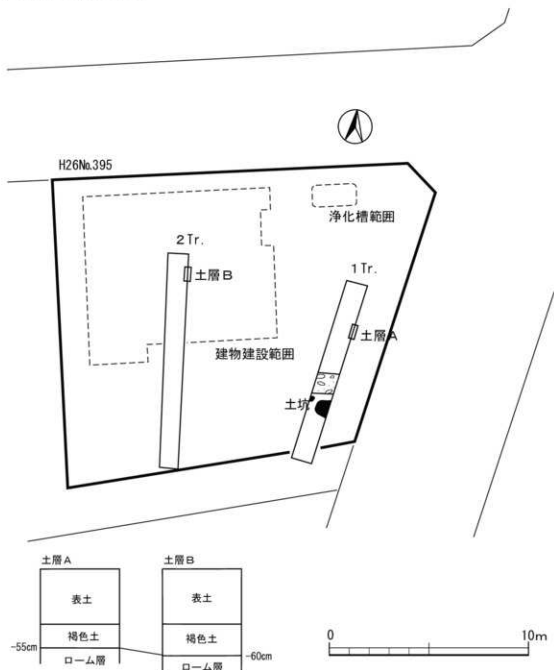
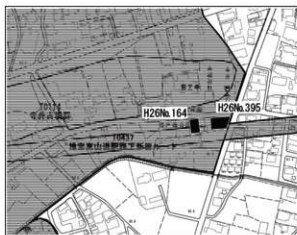
H26No.238



第32図 確認調査平面図・断面図

27 天良七堂遺跡、推定東山道駅路下新田ルート  
(H26No.395)

- ① 所在地 太田市寺井町649-1
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に南北方向のトレンチを2本設定し、ルーム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑2基が確認され、古墳時代から奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。

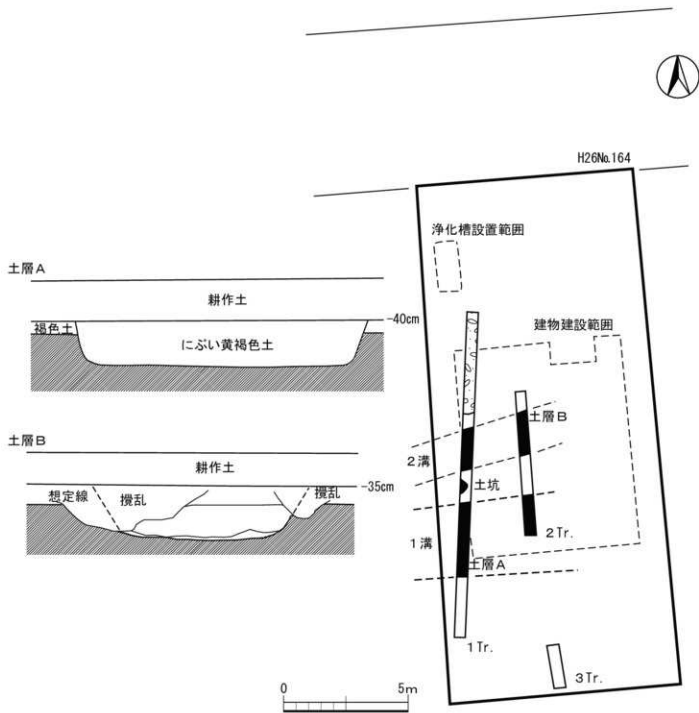


第33図 確認調査平面図・断面図



28 天良七堂遺跡、推定東山道駅路下新田ルート (H26No.164)

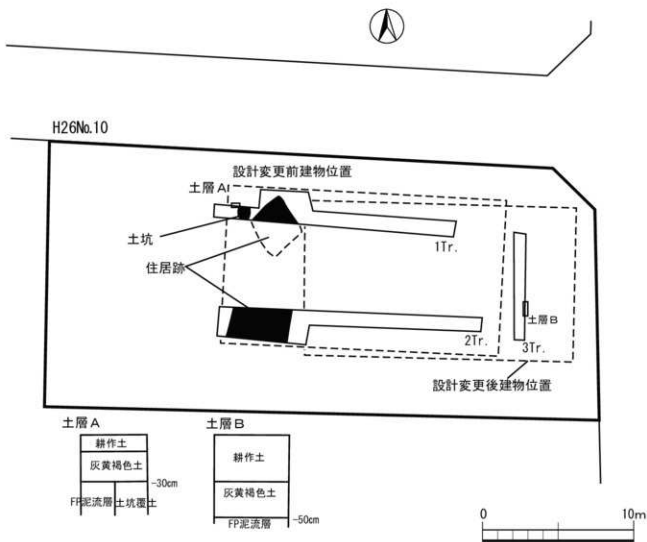
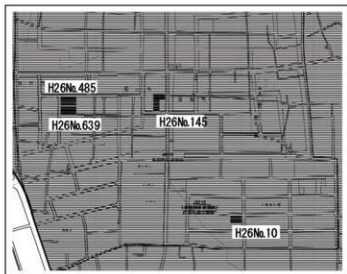
- ① 所在地 太田市寺井町650-1の一部
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に南北方向のトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第34図 確認調査平面図・断面図

29 東部地区遺跡群 (H26No.10)

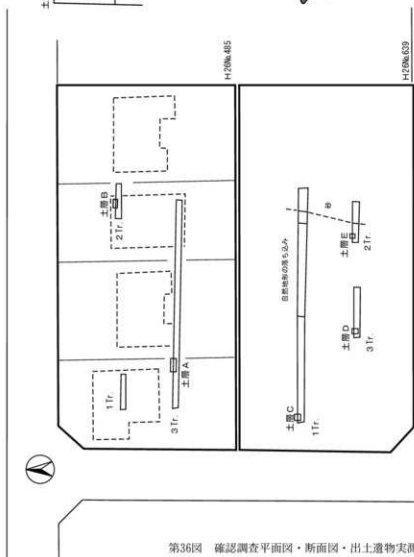
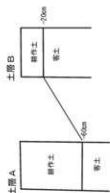
- ① 所在地 太田市岩松町222 (60街区 9)
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に3本のトレンチを設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、土坑1基が確認され、奈良時代から平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法に設計変更されたため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第35図 確認調査平面図・断面図

30 東部地区遺跡群 (H26No.485)

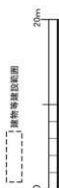
- ① 所在地 太田市岩松町128-1 ほか (34街区-1 ほか)
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に東西方向のトレンチを3本設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第36図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

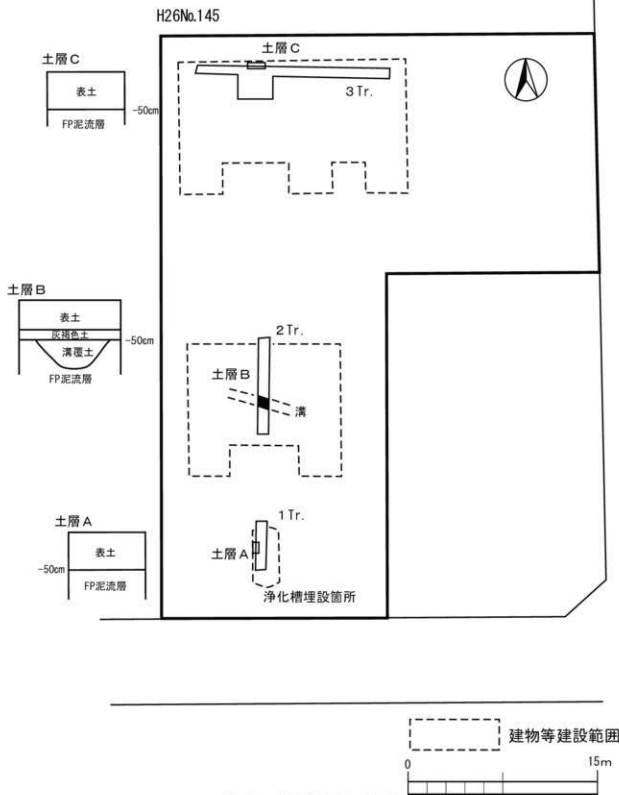
31 東部地区遺跡群 (H26No.639)

- ① 所在地 太田市岩松町128-4 (34街区-14ほか)
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 建設予定地に東西方向のトレンチを3本設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構は確認されなかったが、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



32 東部地区遺跡群 (H26No.145)

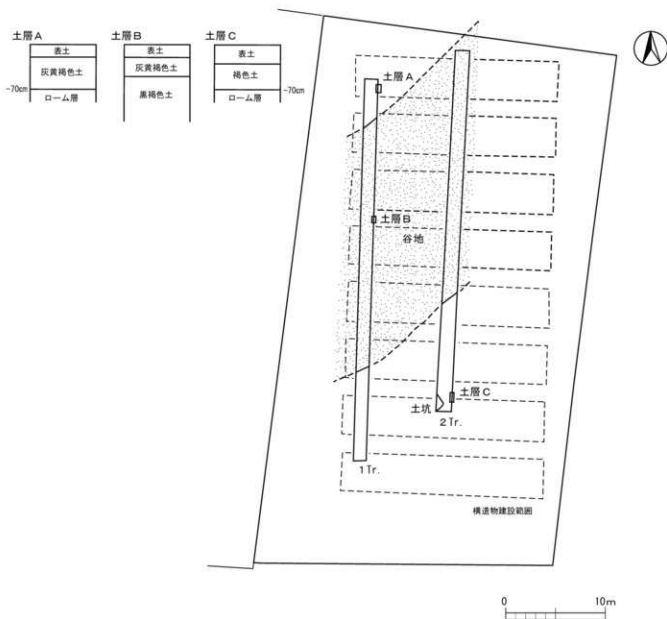
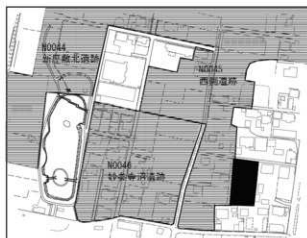
- ① 所在地 太田市岩松町282ほか (28街区7ほか)
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に3本のトレンチを設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第37図 確認調査平面図・断面図

### 33 西側遺跡 (H26No.175)

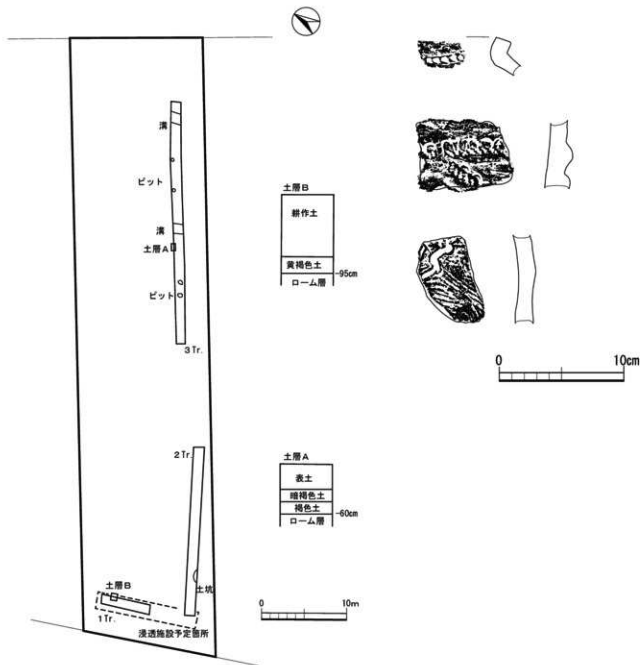
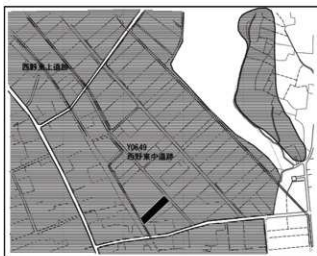
- ① 所在地 太田市新田金井町516
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に南北方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑1基が確認され、縄文時代の土器片等が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第38図 確認調査平面図・断面図

34 西野東中遺跡 (H26No.739)

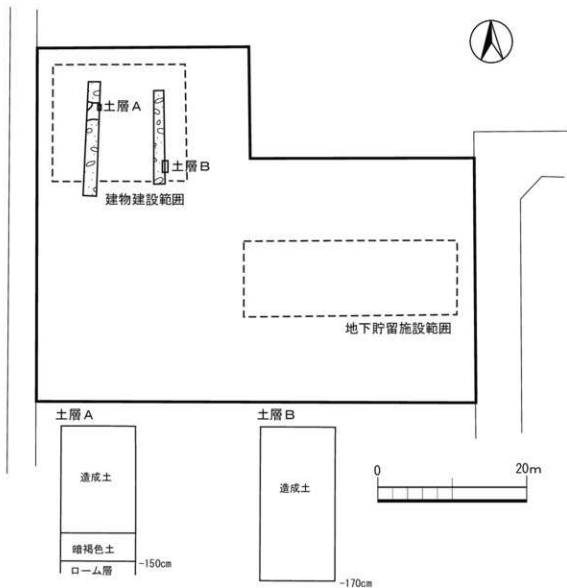
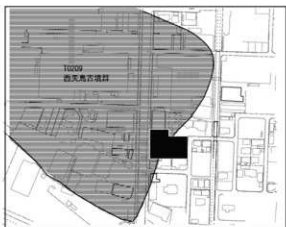
- ① 所在地 太田市藪塚町2796-5
- ② 調査原因 駐車場の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑1基、ピット4基が確認され、縄文時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第39図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

### 35 西矢島古墳群 (H26No.77)

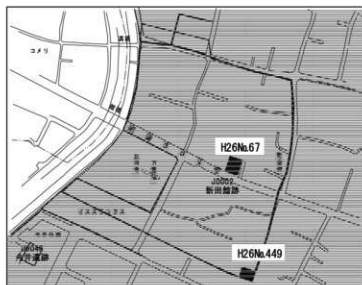
- ① 所在地 太田市南矢島町885-22ほか (18街区2ほか)
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 建設予定地のうち遺跡地内にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第40図 確認調査平面図・断面図

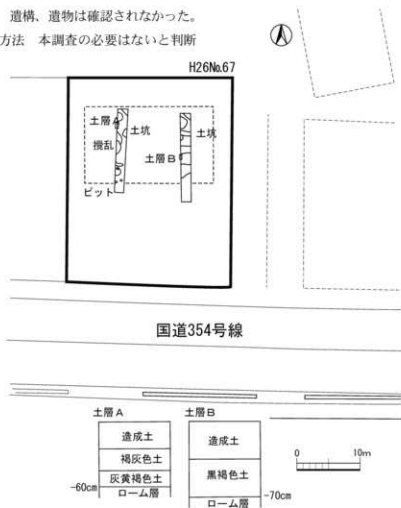
36 新田館跡 (H26No.67)

- ① 所在地 太田市世良町863-4
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に南北方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑12基、ビット3基が確認され、中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



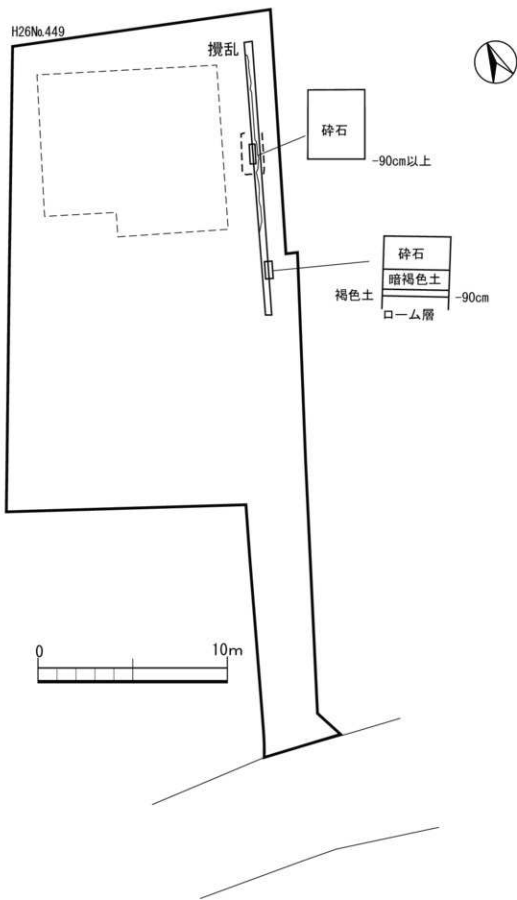
37 新田館跡 (H26No.449)

- ① 所在地 太田市世良町842-3
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地付近に南北方向のトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第41図 確認調査平面図・断面図

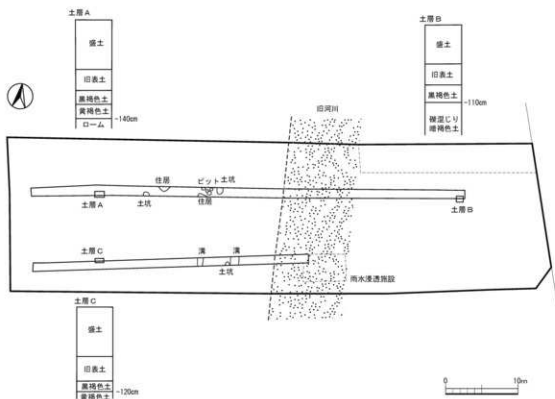




第42図 確認調査平面図・断面図

### 38 萩林遺跡 (H26No.446)

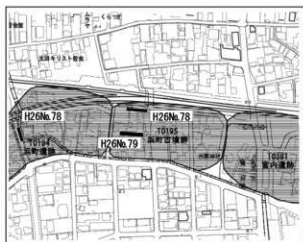
- ① 所在地 太田市藪塚町1179-2ほか7筆
- ② 調査原因 貸露天展示場の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に東西方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、住居跡2軒、土坑1基、ピット4基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第43図 確認調査平面図・断面図

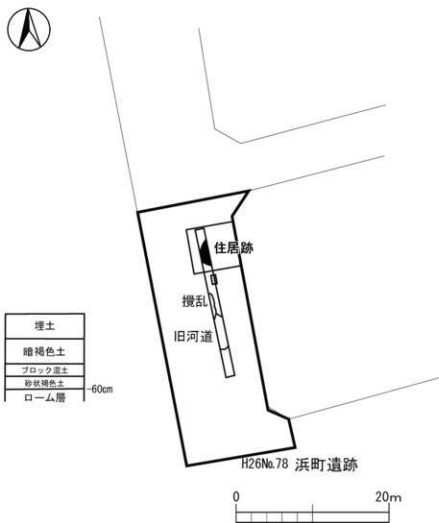
### 39 浜町遺跡、浜町古墳群 (H26No.78)

- ① 所在地 太田市浜町14-10ほか7筆
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地に南北方向のトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝2条、住居跡5軒、土坑2基が確認され、古墳時代から平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。

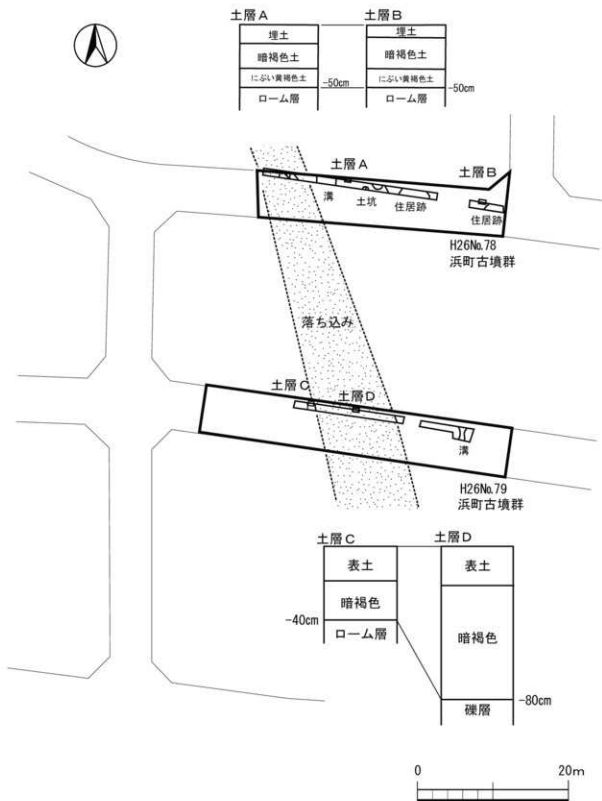


### 40 浜町古墳群 (H26No.79)

- ① 所在地 太田市浜町14-9ほか6筆
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地に東西方向のトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



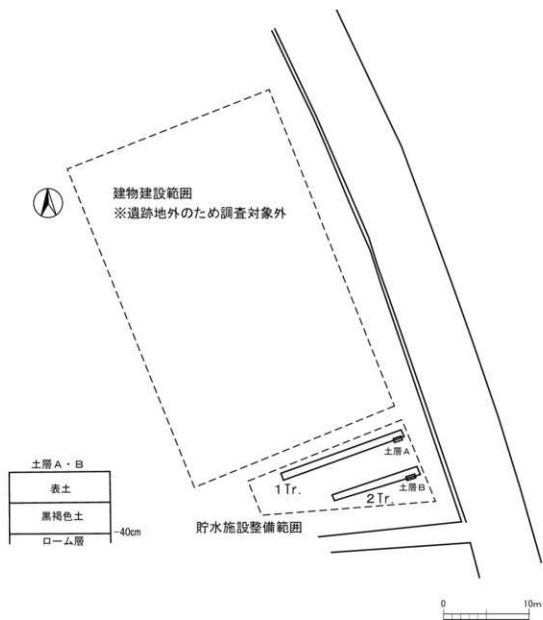
第44図 確認調査平面図・断面図



第45図 確認調査平面図・断面図

41 原店遺跡 (H26No.266)

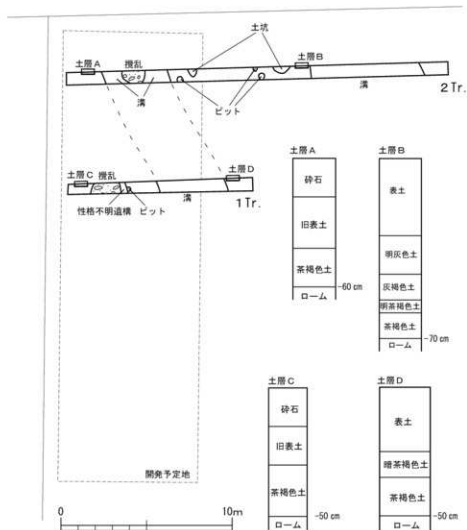
- ① 所在地 太田市東金井町878-1ほか7筆
- ② 調査原因 倉庫の建設
- ③ 調査方法 貯水施設箇所に東西方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第46図 確認調査平面図・断面図

42 道知塚遺跡 (H26No.529)

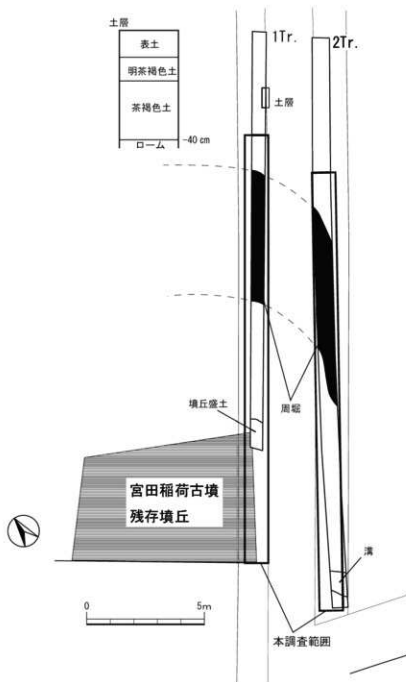
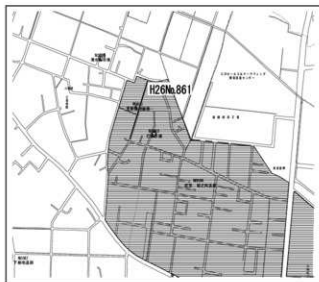
- ① 所在地 太田市南矢島町352-5 ほか (74街区2 ほか)
- ② 調査原因 倉庫の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に東西方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑4基、ピット4基が確認され、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第47図 確認調査平面図・断面図

43 宮田稲荷古墳、一町田・堀之内遺跡  
(H26No.861)

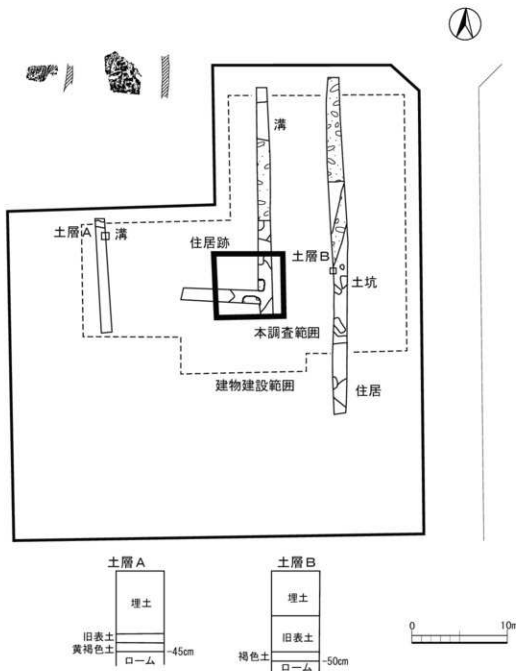
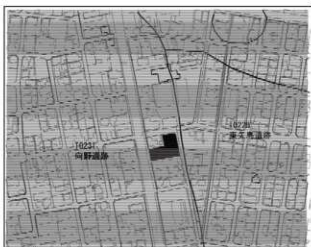
- ① 所在地 太田市新田赤堀町382-3
- ② 調査原因 道路の拡幅
- ③ 調査方法 開発予定地に南北方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳の周溝1箇所、溝1条が確認され、埴輪片、中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。



第48図 確認調査平面図・断面図

44 向野遺跡 (H26No288)

- ① 所在地 太田市高林東町1677-1ほか6筆
- ② 調査原因 葬儀場の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、溝3条、土坑4基、ピット1基が確認され、古墳時代の土器片・埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。

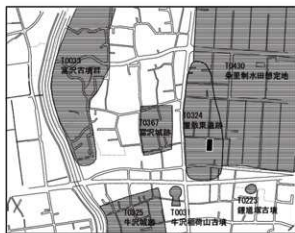


第49図 確認調査平面図・断面図

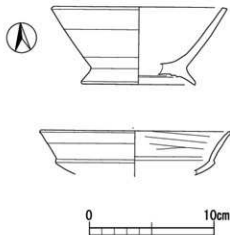
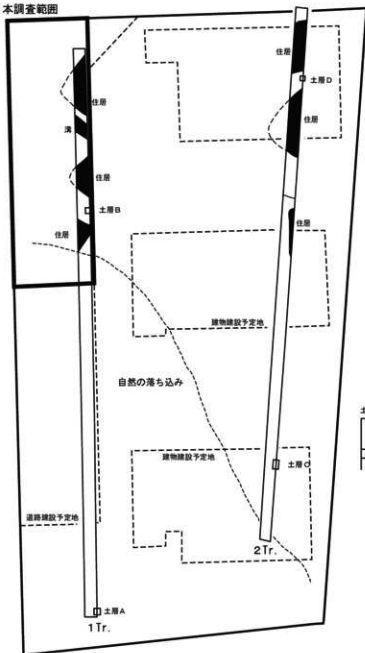


#### 45 屋敷東遺跡 (H26No.688)

- ① 所在地 太田市富沢町170-1
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に南北方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条、住居跡6軒が確認され、古墳時代から平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。

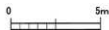


本調査範囲



土層A	土層B
表土	表土
暗褐色土	暗褐色土
黒褐色土	ローム
灰褐色粘土	40cm
85cm	

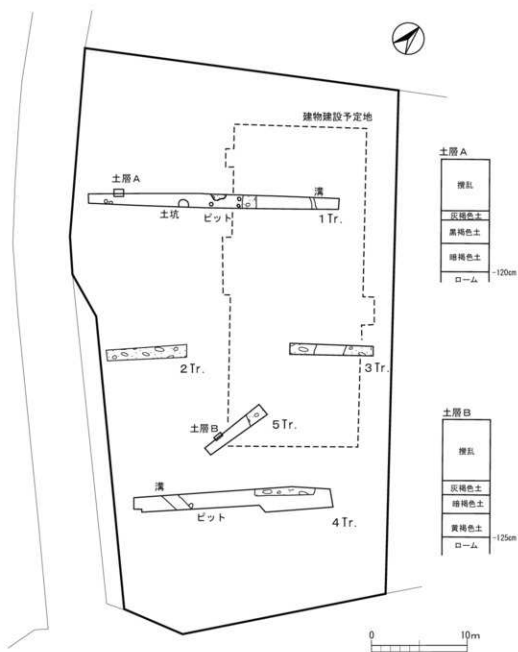
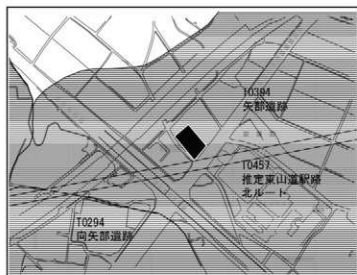
土層C	土層D
表土	表土
暗褐色土	暗褐色土
ローム	ローム
45cm	40cm



第50図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

46 矢部遺跡 (H26No653)

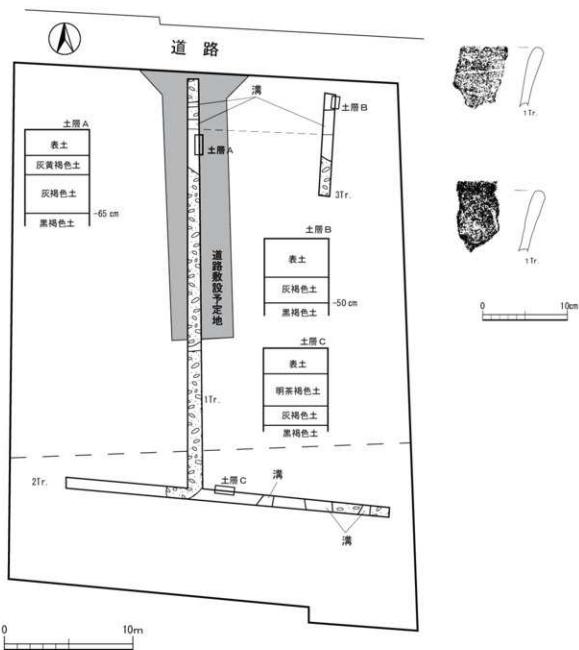
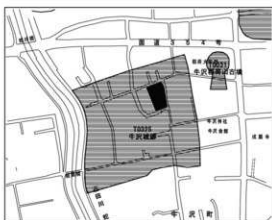
- ① 所在地 太田市只上町364-1
- ② 調査原因 診療所（内科）の建設
- ③ 調査方法 建設予定地等に5本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑1基、ピット6基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構は近世以降のものと思われるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第51図 確認調査平面図・断面図

47 牛沢城跡 (H26No.909)

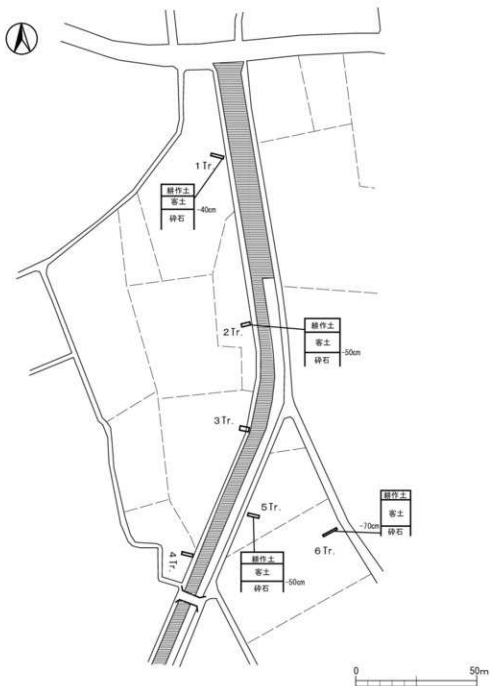
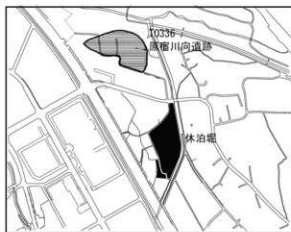
- ① 所在地 太田市牛沢町82-1
- ② 調査原因 道路開発を伴う宅地造成
- ③ 調査方法 建設予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条が確認され、縄文時代・近世以降の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 調査地のほとんどが攪乱を受けていたため、本発掘調査の必要はないと判断される。



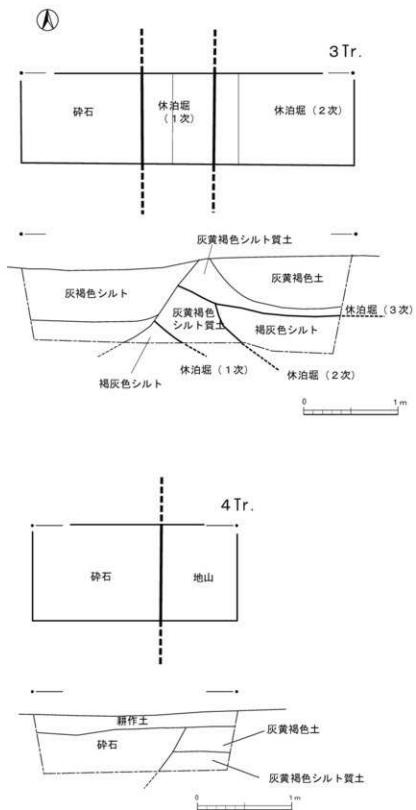
第52図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

#### 48 休泊堀 (H26No.916)

- ① 所在地 太田市原宿町3843ほか19筆
- ② 調査原因 工業団地の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に6本のトレンチを設定し、地表から50cm～100cm掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 休泊堀が1箇所確認され、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構の取り扱いについては、施工主と協議中である。(平成27年度現在)



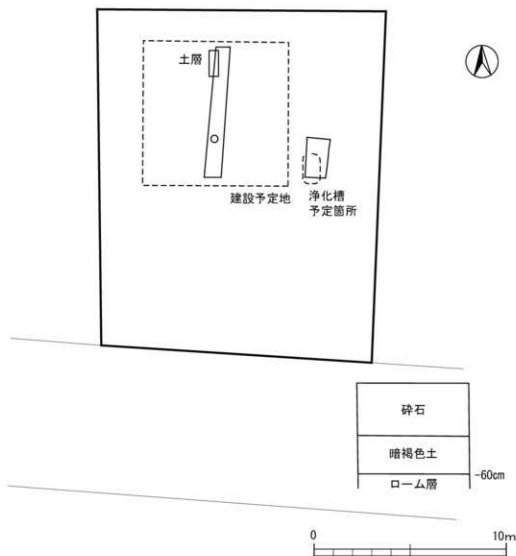
第53図 確認調査平面図・断面図



第54図 確認調査平面図・断面図

49 中道遺跡 (H26No.676)

- ① 所在地 太田市烏山上町1164
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設予定地に南北方向のトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 ビット1基が確認され、奈良時代から平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第55図 確認調査平面図・断面図

## 第5章 総括

平成26年度に市内遺跡発掘調査の対象となった物件は49箇所であり、このうち39箇所で遺構が確認され、8箇所については記録保存のための本発掘調査を実施することとなった。一方、それら以外の31箇所については、現状保存により保護されるか、あるいは近世以降の遺構であるために、本発掘調査の必要はないと判断した。なお、平成26年度の調査地において、次の8箇所を特記事項として記載する。

### ① 下原古墳群（掲載番号13、H26No.61）

下原古墳群は国道17号線沿いに位置する遺跡で、圃場整備事業に伴う農道や排水路の開発が計画されているため確認調査及び発掘調査を実施することになった。

第16図（19頁）の開発箇所は、平成27年5月から同年6月に発掘調査を実施し、確認された溝は、2箇所の方形周溝墓であったことが判明した。

第17図（20頁）の開発箇所は、平成27年11月から平成28年2月に発掘調査を実施し、古墳6基、溝11条、土坑1基、水田跡12面が確認された。なお、北に隣接する世良田諏訪下遺跡では、工業団地の開発に伴い発掘調査が実施され、73基の古墳と多数の溝が確認することができた。

また、下原古墳群の西部に立地する歌舞妓遺跡では、遺構の範囲が南部に拡大することが明らかになった。

### ② 田谷遺跡（掲載番号17、H26No.112）

田谷遺跡は「矢島台地」の東半城のほぼ中央部に位置する遺跡であり、近年では354号バイパスの開発に伴う発掘調査（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施）において、住居跡などの遺構が多数確認されている。このことから、田谷遺跡は大規模な集落跡であったと想定される。本件においても、分譲住宅開発地のうち道路部分を発掘調査し、その結果、住居跡15軒、井戸4基、土坑9基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。住居跡から出土した土器片は、古墳時代の前期・中期・後期であり、特に中期の土器片が多くみられた。

### ③ 鶴生田口遺跡（掲載番号18、H26No.470）

鶴生田口遺跡は、さくら工業団地の南西方の丘陵上に位置する縄文時代の散布地である。本件は、メガソーラー発電の開発に伴い大規模な確認調査を実施したが、縄文時代の遺構は全く確認されなかった。

太陽光発電施設の開発に伴う確認調査は、平成25年度は行なっておらず、これに対し平成26年度は5件行なった。近年では、太陽光発電施設の開発の届出が多く提出されており、今後の対応を注意する必要がある。

### ④ 寺裏遺跡（掲載番号19、H26No.117）（掲載番号20、H26No.26）

寺裏遺跡は県道足利・伊勢崎線の南方に位置する遺跡である。本件は、分譲住宅開発地のうち道路部分を発掘調査し、その結果、住居跡5軒、土坑9基（掲載番号19・20）が確認され、古墳時代の土器片が出土した。特に掲載番号20の住居跡の土器片は大量に出土し、甕や甔などの土器が完形で出土した。発掘調査に至らなかった範囲は、砂地の落ち込みとなっており、寺裏遺跡は河川に囲まれた台地であったと想定される。

⑤ 浜町古墳群（掲載番号38、H26No.78）

浜町古墳群は、東武伊勢崎線沿いの太田駅西方に位置する遺跡であり、土地区画整理事業のため、毎年発掘調査を実施している。本件においても、発掘調査により住居跡8軒、溝1条、土坑10基、ビット10基が確認され、古墳時代から平安時代の土器片が出土した。なお、浜町付近の土地区画整理事業に伴う発掘調査は平成30年度に概ね完了することが見込まれている。

⑥ 宮田稲荷古墳、一町田・堀之内遺跡（掲載番号43、H26No.861）

宮田稲荷古墳は、大川流域に開ける水田から2mほどの比高差をもつ木崎台地の東北部に位置する古墳であり、道路の拡幅により墳丘の一部が削られることから、一町田・堀之内遺跡（古墳時代の散布地）と併せて確認調査を実施するに至った。

なお、平成27年3月に実施した発掘調査において、確認調査で周堀と判断した箇所（第48図参照）は、中・近世の館の堀と推察される溝3条と古墳の周堀の切り合いであることが判明した。また、遺物は古墳時代から近世までの土器片が出土した。開発範囲は狭小であり攪乱もあったため、周堀はごく一部しか確認されなかったが、古墳の規模を推測する資料を得たことは大きな成果と言えよう。

⑦ 向野遺跡（掲載番号44、H26No.288）

向野遺跡は高林台地上に広範囲にわたって立地する遺跡である。葬儀場内のエレベーター部分は深基礎により遺構が破壊されるため、発掘調査を実施するに至った。

発掘調査では、構造物による攪乱が著しかったが、住居跡が2軒確認され、古墳時代の土器片が出土した。土器片のうち形が確認できるものはS字状口縁の台付甕1点であり、それ以外の土器片は小破片のため形は不明だが、古墳時代前期の土器であると考えられる。

⑧ 屋敷東遺跡（掲載番号45、H26No.688）

屋敷東遺跡は太田市南部の沖積地帯中に形成された由良台地の南東に位置する遺跡である。確認調査を行った後、発掘調査を実施し、道路開発予定地から住居跡8軒、土坑10基、井戸1基、溝2条、ビット5基が確認され、古墳時代から平安時代の土器片が出土した。溝や土坑には中世のものであると推察され、調査地の西方に「富沢館跡」があることから、それに関連する遺構の可能性もあると考えられる。



## 確認調査写真



H26 No.46 FP 泥流下遺跡群（北から）



H26 No.60 FP 泥流下遺跡群（南から）



H26 No.122 神之郷後原遺跡（南から）



H26 No555 笠松遺跡（東から）



H26 No44 五反田遺跡（北から）



H26 No142 御霊遺跡（西から）



H26 No.330 御堂遺跡 (南から)



H26 No.436 境ヶ谷戸遺跡 (南から)



H26 No.3 沢野村78号北古墳、高林鶴巻古墳群 (南から)



H26 No.414 猿楽遺跡（西から）



H26 No.131 下小林上遺跡（東から）



H26 No.368 下原遺跡（西から）



H26 No.61 下原遺跡① (南から)



H26 No.61 下原遺跡② (西から)



H26 No.61 下原遺跡③ (南から)



H26 No.381 反町城館跡 (西から)



H26 No.643 反町城館跡 (西から)



H26 No.728 高林遺跡 (東から)



H26 No.112 田谷遺跡（南から）



H26 No.470 鶴生田口遺跡（南から）



H26 No.117 寺裏遺跡（東から）



H26 No.26 寺裏遺跡、推定東山道駅路下新田ルート（東から）



H26 No.377 天狗林遺跡（北から）



H26 No.124 天神山古墳（南から）





H26 No.280 天神山古墳（北から）



H26 No.180 天神山古墳（南から）



H26 No.88 天良七堂遺跡（北から）



H26 No.238 天良七堂遺跡（東から）



H26 No.395 天良七堂遺跡、推定東山道駅路  
下新田ルート（北から）



H26 No.164 天良七堂遺跡、推定東山道駅路  
下新田ルート（南から）



H26 No.10 東部地区遺跡群（西から）



H26 No.485 東部地区遺跡群（西から）



H26 No.639 東部地区遺跡群（西から）



H26 No145 東部地区遺跡群（北から）



H26 No175 西側遺跡（北から）



H26 No739 西野東中遺跡（西から）



H26 No.77 西矢島古墳群（北から）



H26 No.67 新田館跡（南から）



H26 No.449 新田館跡（北から）



H26 No446 萩林遺跡 (東から)



H26 No78 浜町古墳群 (東から)



H26 No79 浜町古墳群 (東から)



H26 No.266 原店遺跡（東から）



H26 No.529 道知塚遺跡（東から）



H26 No.861 宮田稲荷古墳、一町田・堀之内  
遺跡（南から）



H26 No288 向野遺跡 (南から)



H26 No688 屋敷東遺跡 (北から)



H26 No653 矢部遺跡 (北から)





H26 No.909 牛沢城跡（北から）



H26 No.916 休泊堀（南から）



H26 No.676 中道遺跡（北から）

## 報告書抄録

フリガナ	オオタシナイイセキ11
書名	太田市内遺跡11
副書名	平成26年度調査
巻次	—
シリーズ名	—
シリーズ巻名	市内遺跡
編集著者名	長谷川幸男 中村 渉 山口高志 岩松大輔
編集機関	太田市教育委員会
編集機関所在地	〒370-0495 群馬県太田市粕川町520 TEL.0276-20-7090
発行年	平成28年3月31日
所収遺跡	太田市内遺跡49箇所。(詳細は調査地一覧表に記載。)

### 太田市内遺跡 11

—平成26年度調査—

平成28年3月28日 印刷

平成28年3月31日 発行

編集・発行 群馬県太田市教育委員会

群馬県太田市粕川町520

電話 0276-20-7090

印刷 朝日印刷工業株式会社